

幅162.5cmハイタイプ

追加セット

MUJI 無印良品

保存用

スタッキングキャビネット・幅162.5cm・ハイタイプ・追加セット・オーク材
スタッキングキャビネット・幅162.5cm・ハイタイプ・追加セット・ウォールナット材

組立・取扱説明書

この度は本商品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
ご使用前に本書をよくお読みいただき、内容を理解した上で、正しく組み立て、正しくお使いください。
また、本書はいつでも確認できるように大切に保管してください。

もくじ	ページ
重要なお知らせ（安全上のご注意）	2 ～ 3
パーツリスト	4
組み立て前の確認事項	5
各部の名称	6 ～ 9
組立方法	10 ～ 31
ご使用方法	32 ～ 35
お手入れ方法	35 ～ 36
ご使用に際して	36
製品仕様	37
お問い合わせ先	37

2016 年 8 月 1 日

重要なお知らせ（安全上のご注意）

必ずお守りください。

本書には、お使いになる方や他の人への危害と財産への損害を未然に防ぎ、安全に正しくお使いいただくために、重要な内容を記載しています。

次の内容（表示・図記号）をよく理解してから本文をお読みになり、記載事項をお守りください。

●表示の説明

誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して説明しています。



警告

使用者が死亡または重傷（※1）を負うことが想定される内容です。



注意

使用者が傷害（※2）を負うことや物的損害（※3）が発生することが想定される内容です。

●図記号の説明

お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。（次は図記号の例です。）



してはいけない「禁止」の内容です。



実行しなければならない内容です。

※1 重傷とは、失明やケガ、やけど、骨折、中毒、感電などで後遺症が残るものおよび治療に入院、長期の通院を要するものをさします。

※2 傷害とは治療や入院や長期通院を要しない、ケガ、やけどをさします。

※3 物的損害とは、家屋、家財にかかわる拡大損害をさします。



警告



禁止

- 商品の近くでストーブなどの暖房器具を使用しないでください。引火して火災の原因となります。
- 商品で電化製品の電源コードを踏まないでください。コードが破損し、感電や火災の原因となります。
- 本体が破損した場合、直ちに使用を中止してください。破損したまま使用しますと、ケガをするおそれがあります。
- 3段（「スタッキングキャビネット基本セット」+「ハイトイプ追加セット」+「追加セット」）の組み合わせで使用する場合は収納上部にガラス扉や引出し・大は使用しないでください。転倒や破損によりケガをするおそれがあります。
- 中仕切りや側板などのパーツははずして組み立てないでください。強度不足により破損、変形しケガをする原因となります。
- ボルトやワッシャー、フェルトなどの小さい部品は、お子様の手の届くところに置かないでください。誤飲や窒息のおそれがあります。
- 不要になった梱包材は、幼児の手の届くところに置かないでください。頭からかぶるなどしたときに、口や鼻をふさぎ窒息するおそれがあります。



行う

- AV機器を置く場合は、そのAV機器の取扱説明書をよく読み正しく設置してください。また、十分に隙間をあけて通気性をよくしてご使用ください。電気製品の故障や火災の原因となります。
- 建物の壁や天井、床等に耐震用の固定用金具や固定部材でしっかりと商品を固定してください。地震による振動で過度の負荷が掛かった場合、商品の転倒により、ケガの原因となります。
- 本体の天板はフラッシュ構造です。耐震用の固定用金具やテレビの固定用金具を天板にネジで固定する場合は、取り付け位置を確認してください。芯材がない位置にネジ止めすると固定用金具がはずれるおそれがあります。
- スタッキングキャビネット・基本セットに付属の「組立・取扱説明書」をよく読み、正しくお使いください。使用上の注意事項が記載しており、ケガを防ぎ、安全にお使いいただくために重要です。

⚠ 注意	
 禁止	● 組み立てが不完全なまま使用しないでください。固定部分が外れてケガの原因になることがあります。 ● 移動する際は、引きずらないでください。商品の破損、床面へのキズの原因となります。 ● 本来の用途以外では使用しないでください。思わぬ事故やケガの原因となります。 ● 耐荷重を超えて物を載せたり、耐荷重内でも一部に片寄って載せたりしないでください。変形や破損によりケガをするおそれがあります。 ● 修理および改造はしないでください。製品の強度が弱くなりケガをするおそれがあります。 ● 天板や棚の一部に集中した荷重を加えないでください。破損、変形等の原因となります。 ● 上部に重たいものは置かないでください。地震などで物が落ちたり、本体ごと倒れたりして、ケガをすることがあります。 ● 屋外では使用しないでください。変形や劣化により、ケガをする原因となります。
 行う	● 使い始めるときは、室内の換気を十分にしてください。ホルムアルデヒド放散量の少ない木材を使用しておりますが、ホルムアルデヒドが残っている可能性があり、化学物質に過敏な体質の方や乳幼児などアレルギー症状を起こすことがあります。 ● 組み立ての際は、組み立てに必要なスペースを確保し、敷物などを敷いて床や既存の家具にキズがつかない様に注意してください。 ● 組み立ては必ず2人以上で行ってください。1人では商品破損や商品落下などによりケガをする原因となります。 ● 組立や設置の際には指や手をはさまないようにご注意ください。 ● 移動させる際は収納物を取り除いてから、2人以上で移動させてください。1人でひきずるなど無理に移動させると、ケガや商品を破損する原因となります。 ● 引っ越しや部屋や階をまたぐような移動をする際は、組み立て前の状態に戻してから運んでください。スチールパイプの接合部にゆるみが生じて商品が破損しケガをするおそれがあります。 ● ボルトやスチールパイプの取付け状態にゆるみがないか定期的に点検し、ゆるんでいる場合は締め直してください。ゆるんだまま使用すると破損、ケガの原因となります。

お願い (その他 注意)	
	● 高温 (目安: 35℃以上) や乾燥した場所 (目安: 湿度30%以下) で長期間設置はしないでください。製品の反りやゆがみ、割れなどが生じる原因になります。 ● 商品に直接熱いものや濡れたものを置かないでください。反りやゆがみ、割れ、変形などの原因になります。 ● 直射日光や照明、ストーブやエアコンなどの冷暖房器具の熱や風を商品に直接あてないでください。反りやゆがみ、割れ、変色の原因になります。 ● 商品の上にビニール製品を長時間置かないでください。変色したり塗装がはがれる原因となります。 ● お手入れの際は、シンナーなどの有機溶剤を含んだ布で拭かないでください。変色や変形の原因となります。 ● 平坦で安定した場所に設置してください。不安定な場所での使用は、商品がゆがんだり、破損の原因になることがあります。 ● 暖房器具を使用する場合は室内温湿度は適正に保つようにしてください。冬場などの暖房器具による室内の極端な乾燥は天然木材の割れや反りの原因となります。 ● 開封後の梱包材は、自治体のルールに従い、処分してください。

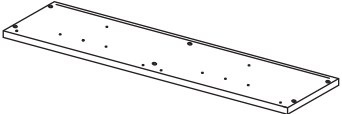
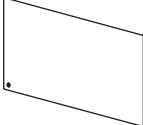
パーツリスト

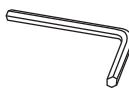
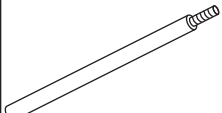
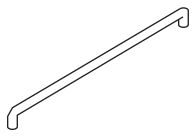
オーク材

ウォールナット材

共通

※各リストはオーク材、ウォールナット材ともに共通です。

⑥中板  ※上下の向きがあります。 × 1	①側板・大A  ※片面にシャフト穴があります。 × 1	④側板・大B  ※シャフト穴がありません。 × 1
⑧中仕切り・大  ※片面にシャフト穴があります。 × 1	⑨背板・小  × 1	⑩背板・大  × 1
⑪棚板・小  ※前後の方向性があります。 × 1	※①～⑥、⑧は「基本セット」「追加セット」のパーツのため同梱されていません。	

フィッティングパーツリスト ※1			
⑫シャフト  × 4	⑬ボルト・大 ※2  × 2	⑭ワッシャー ※2  × 2	⑮スプリングワッシャー ※2  × 2
⑯六角レンチ  × 1	⑰ドライバー  × 1	⑱スチールパイプ  × 8	⑲スペーサー  × 4
⑳袋ナット ※3  ※ネジが切ってあります。 × 2	㉑ワイヤーレール  × 2	㉒突板シール  (予備含む) × 4	

※1 ⑫、⑬～⑱、⑲、㉑～㉒は「基本セット」「追加セット」及び「追加パーツ」に付属するパーツのため同梱されていません。

※2 ⑬ボルト・大、⑭ワッシャー、⑮スプリングワッシャーは「ナット仕様・2段」の組み合わせでは使用しません。

※3 ㉑袋ナットは「プレート仕様・2段」の組み合わせでは使用しません。

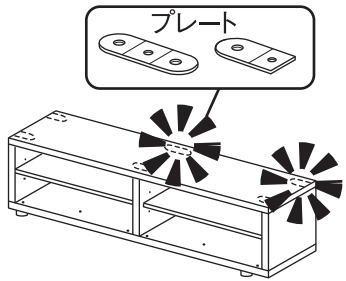
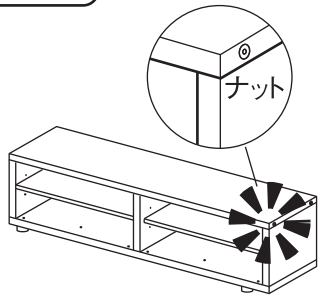
組み立て前の確認事項

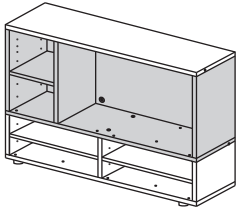
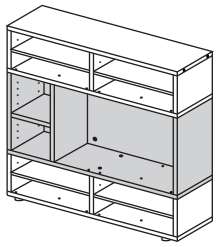
オーク材

ウォールナット材

共通

本商品は、①「基本セット」(別売)の仕様と、②「追加セット」との組み合わせ条件により組立方法が異なります。お手持ちの「基本セット」の仕様、ならびに「追加セット」との組み合わせ条件をご確認の上、各ページへお進みください。

①「基本セット」の仕様確認	
プレート  ●天板裏に黒いプレートが付いている ●黒いプレートがパーツに付属されている ↓ ●下記のページへお進みください プレート	ナット  ●天板側面にナットが付いている ↓ ●下記のページへお進みください ナット

②「追加セット」との組み合わせ条件	
2段  「スタッキングキャビネット・基本セット」 + 「ハイトタイプ追加セット」	プレート 2段 6 ページ及び 10 ～ 14 ページ ナット 2段 8 ページ及び 21 ～ 24 ページ
3段  「スタッキングキャビネット・基本セット」 + 「ハイトタイプ追加セット」 + 「追加セット」	プレート 3段 7 ページ及び 15 ～ 20 ページ ナット 3段 9 ページ及び 25 ～ 28 ページ

共通の組立方法のページも ご確認ください。	共通 29 ～ 31 ページ
----------------------------------	-------------------------------------

各部の名称

オーク材

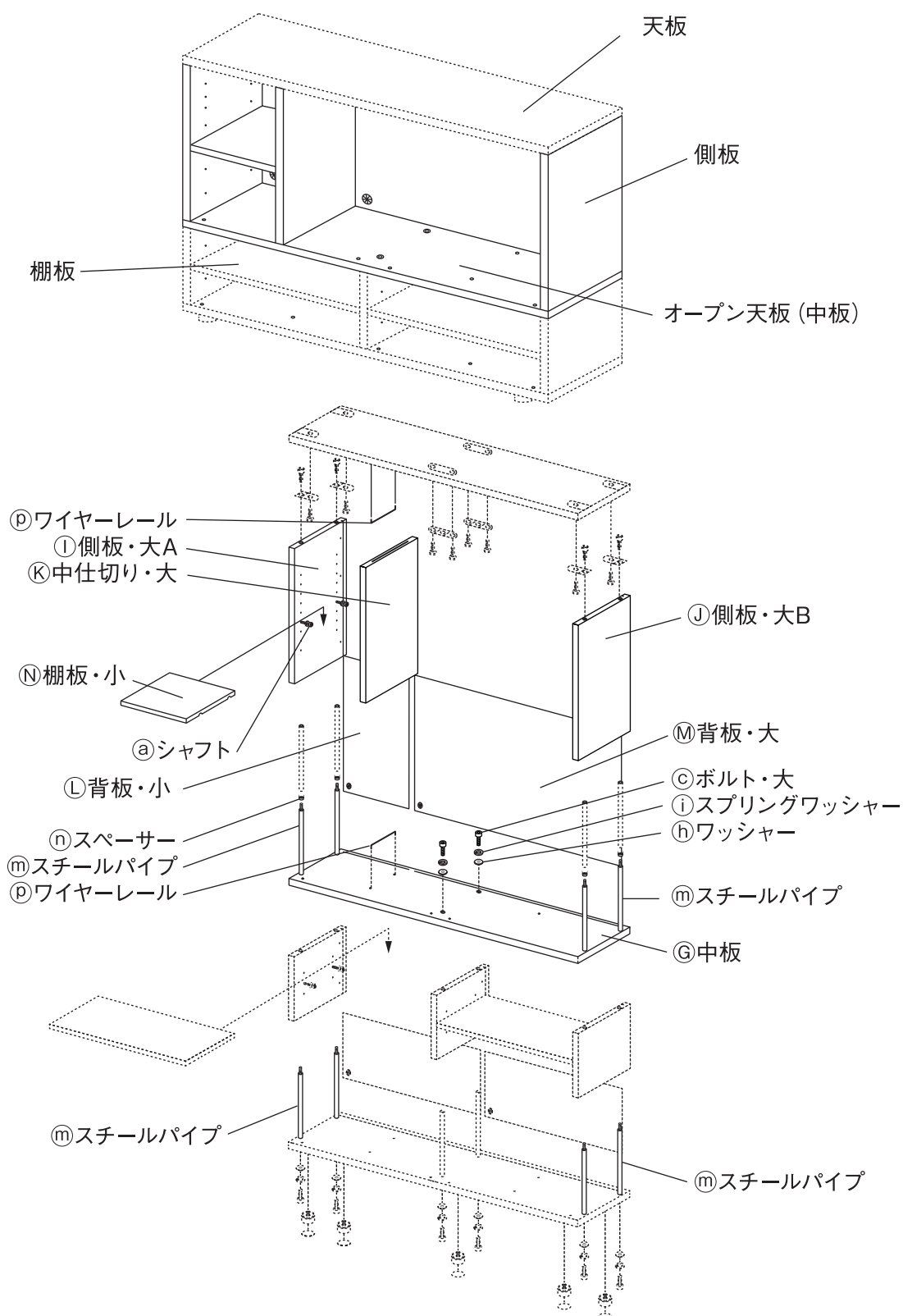
ウォールナット材

共通

プレート

2 段

※鎖線で記載された部分は「基本セット」専用のパーツです。ハイトイプ追加セットには含まれません。



各部の名称 (つづき)

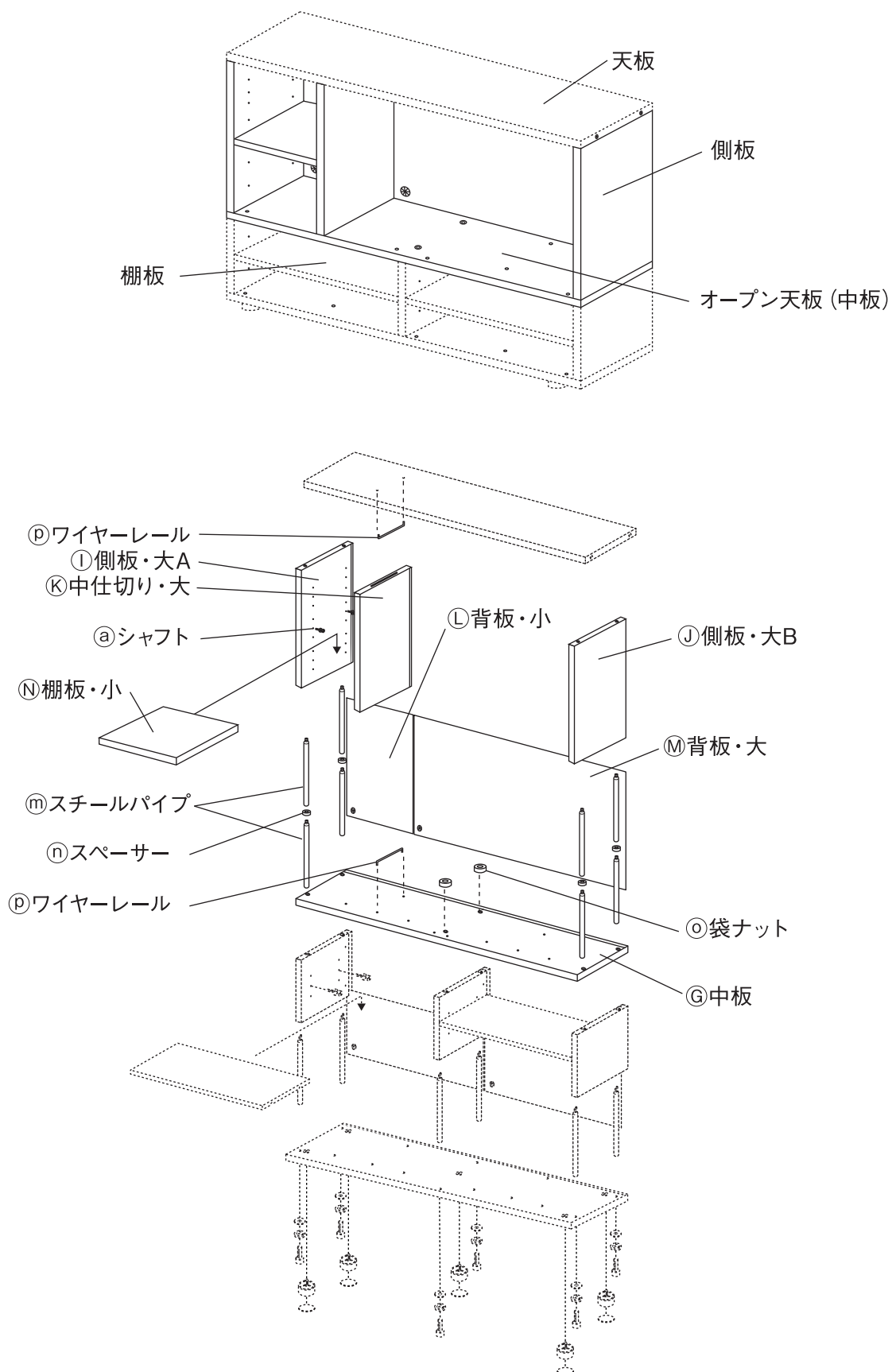
オーク材

ウォールナット材

共通

ナット

2 段



各部の名称 (つづき)

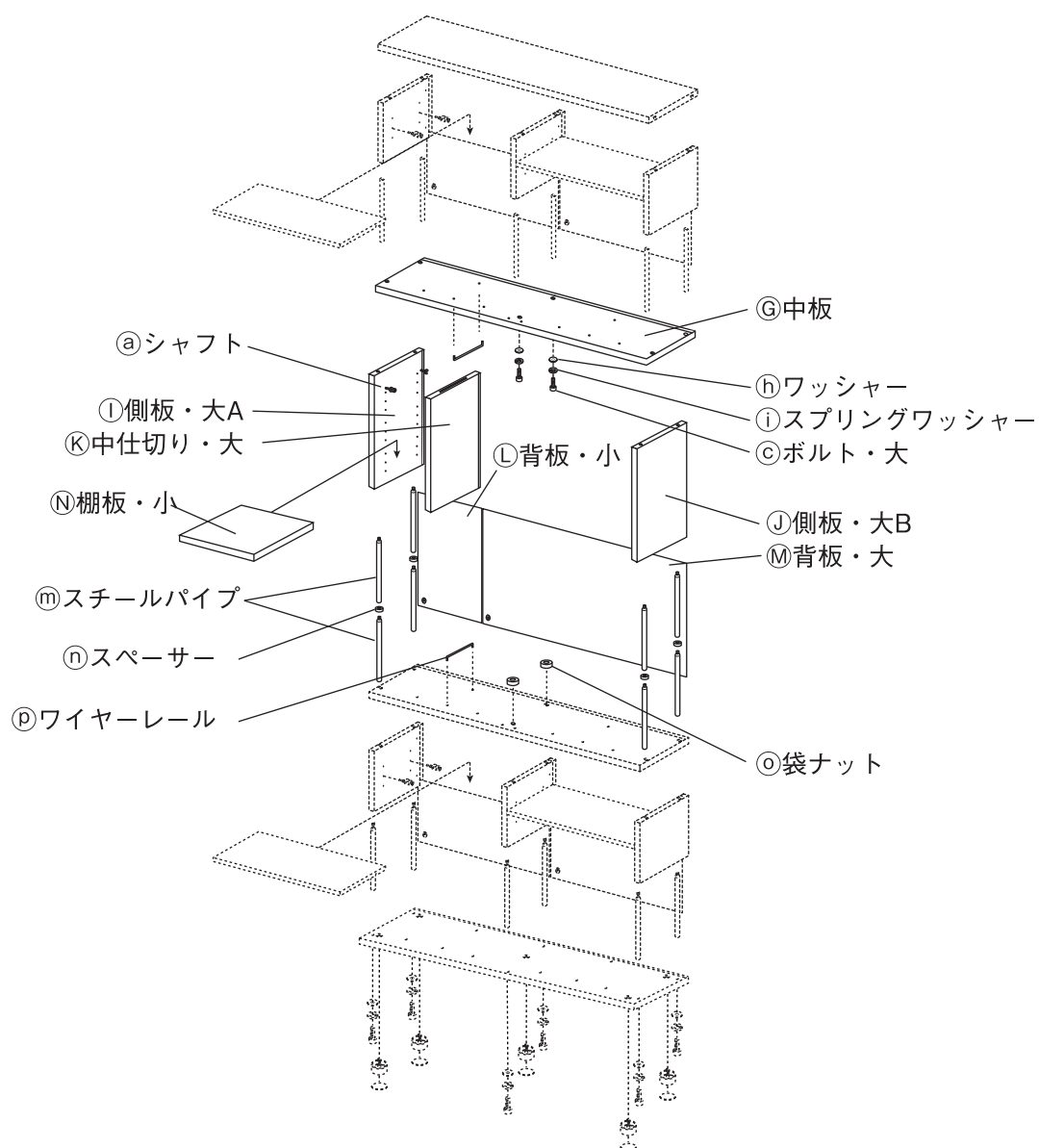
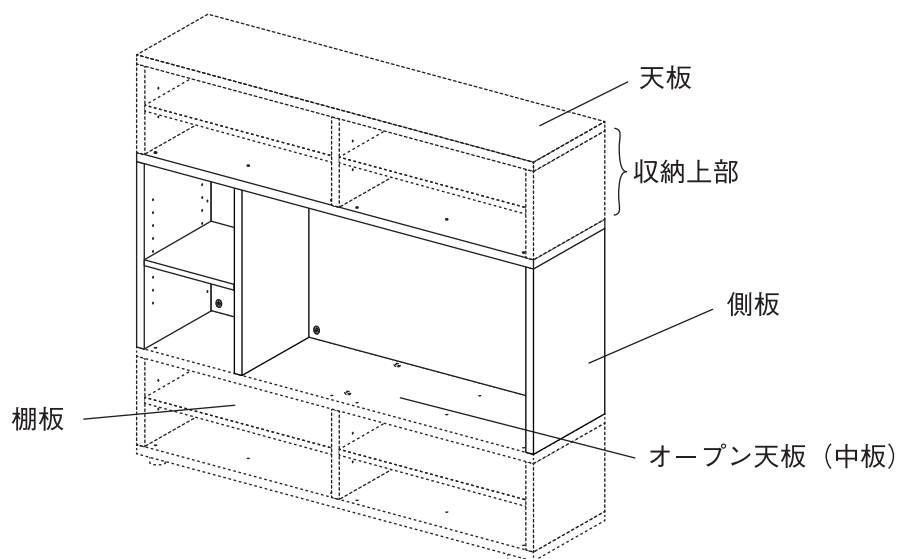
オーク材

ウォールナット材

共通

ナット

3段



組立方法

オーク材

ウォールナット材

共通

プレート

2 段

※組立方法はオーク材、ウォールナット材ともに共通です。

※以下の組立手順 **1** は、組み立て済みの幅 162.5 cm 基本セットに、ハイトタイプ追加セットを取り付ける手順を説明しています。基本セットの組み立てから続けてハイトタイプ追加セットを連結する場合は手順 **2** から組み立ててください。



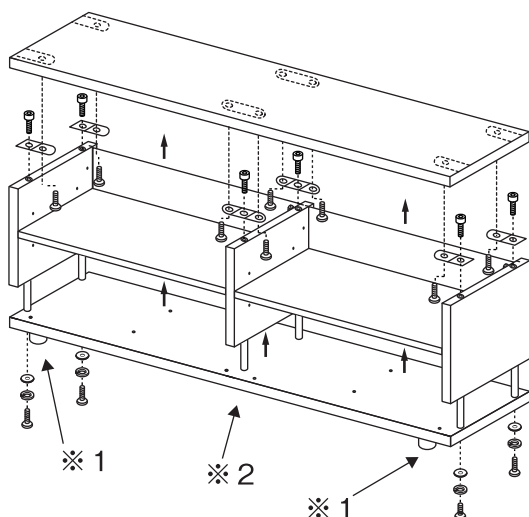
注意

- 組み立ては必ず2人以上でおこなってください。1人では部品を保持できずに組み立てしにくい部分があり、部品の落下による破損やケガをするおそれがあります。
- 組み立てには付属の六角レンチ、ドライバーを使い、電動工具は使用しないでください。電動工具による過度の締め付けなどで製品を破壊する可能性があります。
- 組み立て後、1週間程度経過しましたらボルトを締め直してください。使いはじめはゆるんでいる場合があり、そのまま使用すると破損やケガの原因となります。

1

敷物などの上にスタッキングキャビネット基本セットを置き、組み立てた手順を逆にたどり、以下の様にパーツを取り外してください。

※手順については、スタッキングキャビネット基本セットに付属の「組立・取扱説明書」をご確認ください。



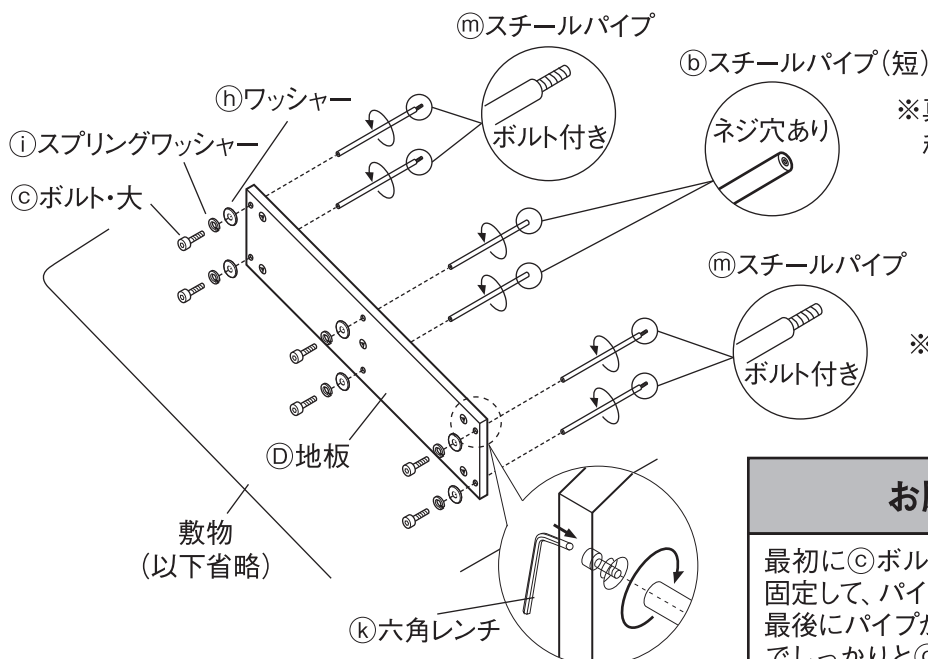
以下の部品は取り外す必要はありません。

※1: ④脚×4

※2: ⑥スチールパイプ (短) ×2 (真ん中の中仕切り固定) と、地板と固定している③ボルト・大、⑦ワッシャー、⑧スプリングワッシャー各2ヶ

2

④地板を横にした状態で、③ボルト・大に⑧スプリングワッシャー、⑦ワッシャーを入れ、底面から④地板をはさむ様に⑥スチールパイプ (短) と、ハイトタイプ追加セットの⑨スチールパイプをねじ込み、⑩六角レンチでしっかりと締めつけます。



※真ん中のスチールパイプ2本は種類が違いますのでご注意ください。

※手順 **1** より引き続き組み立てをする場合は、⑨スチールパイプのみ取り付けてください。

お願い (その他注意)

最初に③ボルト・大を⑩六角レンチで図のように固定して、パイプを回しながら取り付けてください。最後にパイプが回らない様に押さえ、⑩六角レンチでしっかりと③ボルト・大を締めつけてください。

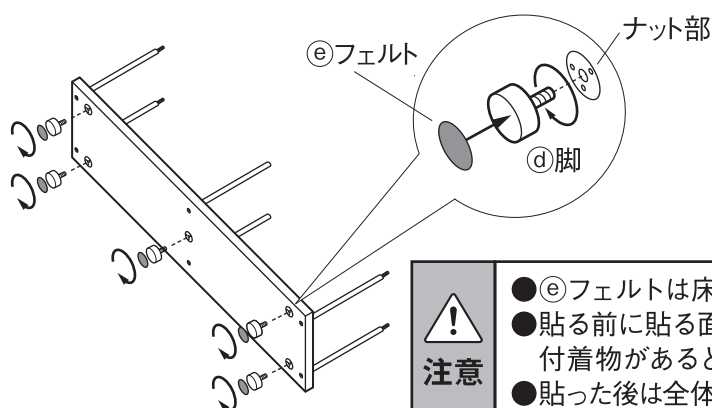
プレート

2 段

3

④脚の底面に⑤フェルトを貼り、①地板のナット部に④脚を回しながら取り付けます。

※すでに取り付け済みの場合は、手順 4 へ進んでください。



注意

- ⑤フェルトは床面を保護するために使用してください。
- 貼る前に貼る面のほこりなどの付着物をふき取ってください。付着物があると粘着力が低下します。
- 貼った後は全体をしっかりと指で押さえて、ムラなく貼ってください。

別売の「スタッキングシェルフ」と天板の高さを合わせたい場合

ナット部

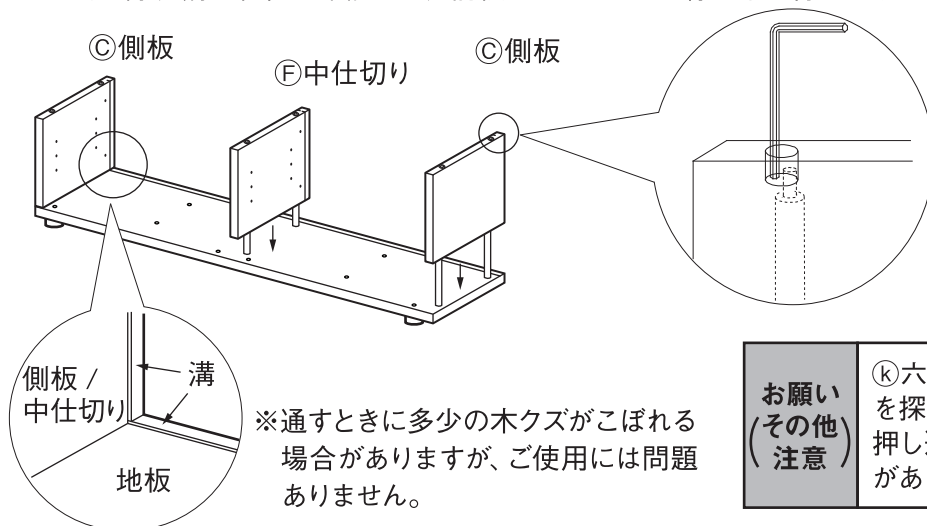


別売の「スタッキングシェルフ」と横に並べて高さを合わせたい場合は、④脚を取り付けず、①地板のナット部に直接⑤フェルトを貼ってください。その際はナット部が全て隠れるように貼ってください。また、スチールパイプと固定している③ボルト・大が①地板から飛び出していない事を確認してください。飛び出していると、床をキズつける原因となります。

4

①地板を底にした状態にして商品を起こし、取り付け済みのスチールパイプに③側板と⑥中仕切りを通します。

その際、溝の位置を確認して、前後をまちがえない様に取り付けてください。

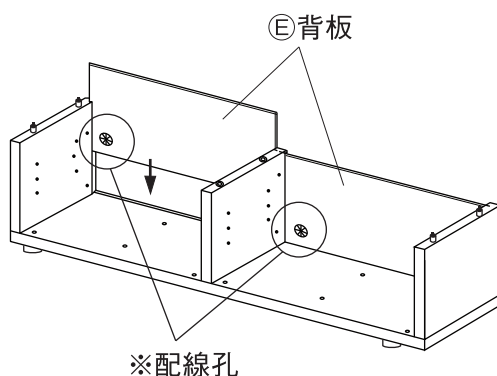


お願い
(その他)
注意

⑧六角レンチを使ってスチールパイプを探りながら通してください。無理に押し込もうとすると、破損するおそれがあります。

5

③側板、⑥中仕切りの溝に合わせて⑤背板を差し込みます。



※配線孔の位置は、⑤背板の差し込む向きを変えることで、「左、右」「上、下」から選べます。手順 5 以降では、変更できませんのでご注意ください。

お願い
(その他)
注意

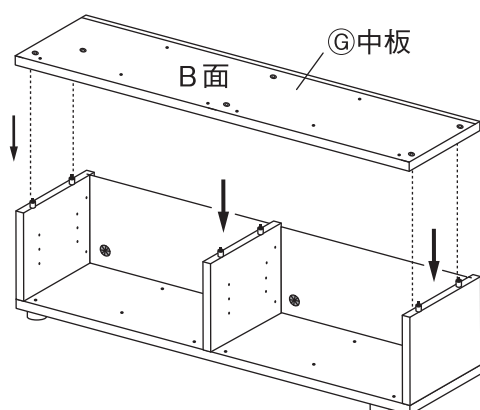
地板の溝に背板を入れるときに、背板を前後から軽くたたきながら入れ、しっかりと一番下まで差し込んでください。

別売の「ガラス扉」「木製扉」を取り付ける場合

別売の「追加セット」「ガラス扉」「木製扉」を取り付ける際は、手順 **6** に進む前にそれぞれの商品に付属の「組立・取扱説明書」をご確認して組み立ててください。

6

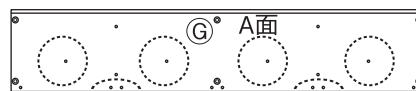
ハイタイプ追加セットの⑥中板を穴とスチールパイプの位置を合わせ、背板を溝に入れながら取り付けます。この際に⑥中板のB面を上にしてください。



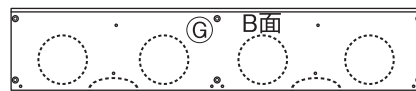
⑥中板のA面とB面について

⑥中板はA面とB面で穴の加工が違います。以下の図を参照に、正しい向きに取り付けてください。
まちがえて取り付けした場合、オプションパーツの扉と引出しを正しく取付ける事ができません。

丸の場所に
穴加工有り ⇒ A面

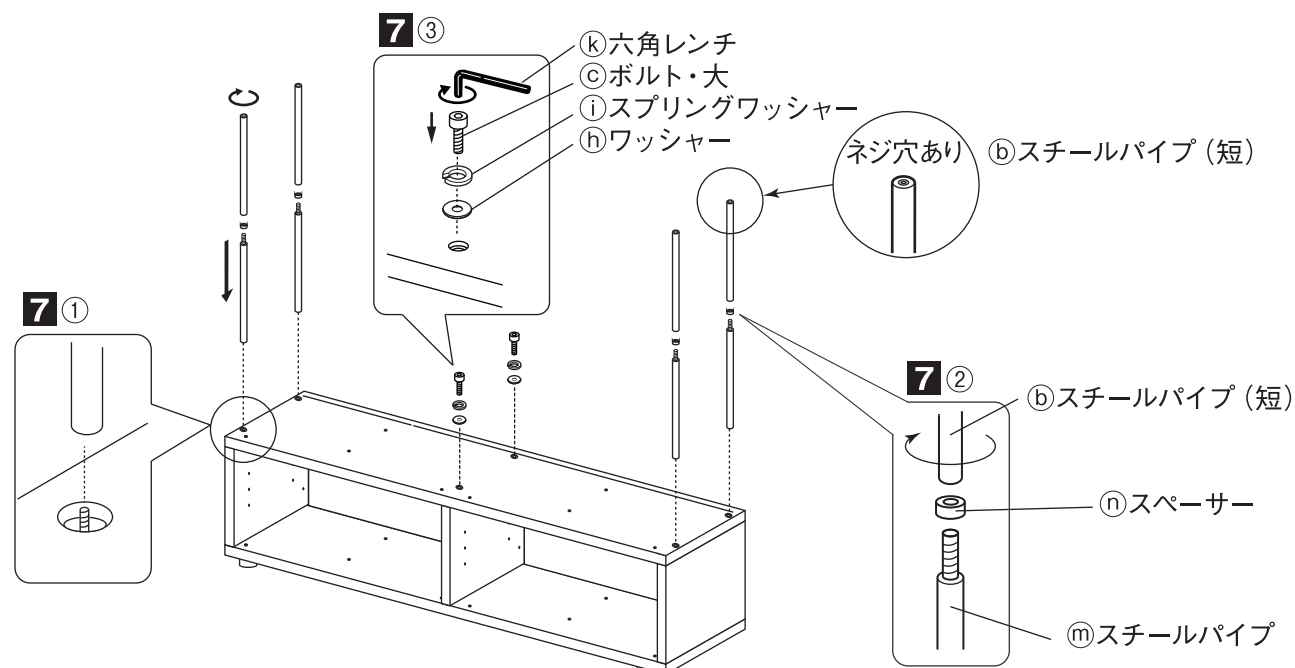


丸の場所に
穴加工無し ⇒ B面



7

- ① ハイタイプ追加セットの⑭スチールパイプを、⑥中板の左右端の貫通穴のボルトに締め付けて固定します。
- ② 取り付けしたスチールパイプに⑮スペーサーを取り付けて、⑬スチールパイプ (短) を締めつけます。
- ③ ⑥中板の中央の貫通穴に④ボルト・大、①スプリングワッシャー、⑨ワッシャーを締めつけます。



組立方法 (つづき)

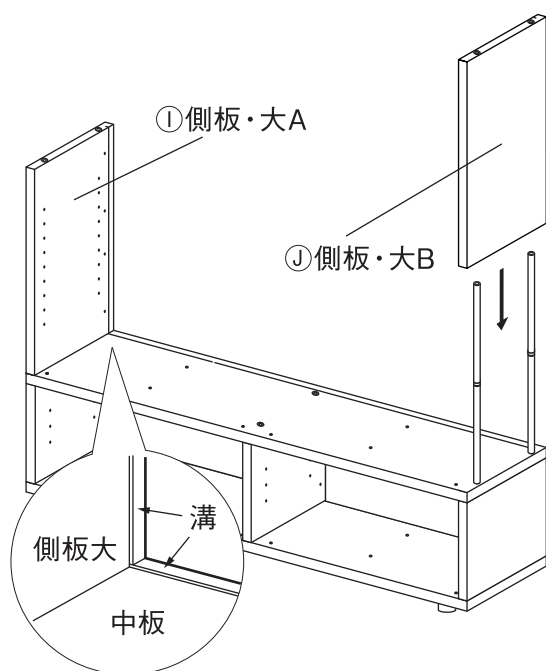
オーク材 ウォールナット材 共通

プレート

2 段

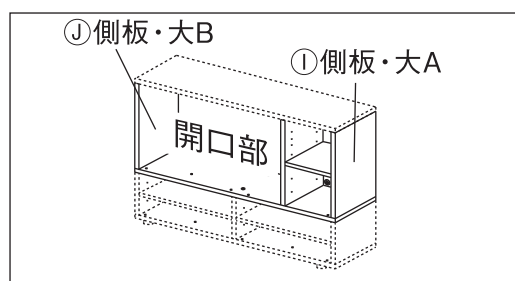
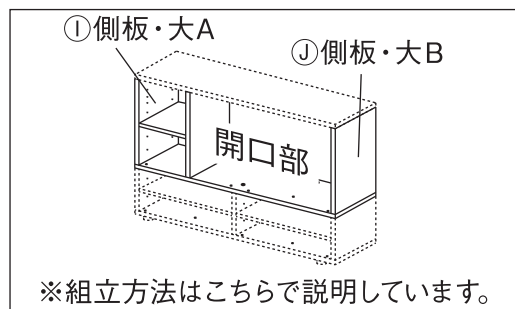
8

取り付け済みのスチールパイプにハイタイプ追加セットの①側板・大A、②側板・大Bを通します。その際、溝の位置を確認して、前後をまちがえない様に取り付けてください。



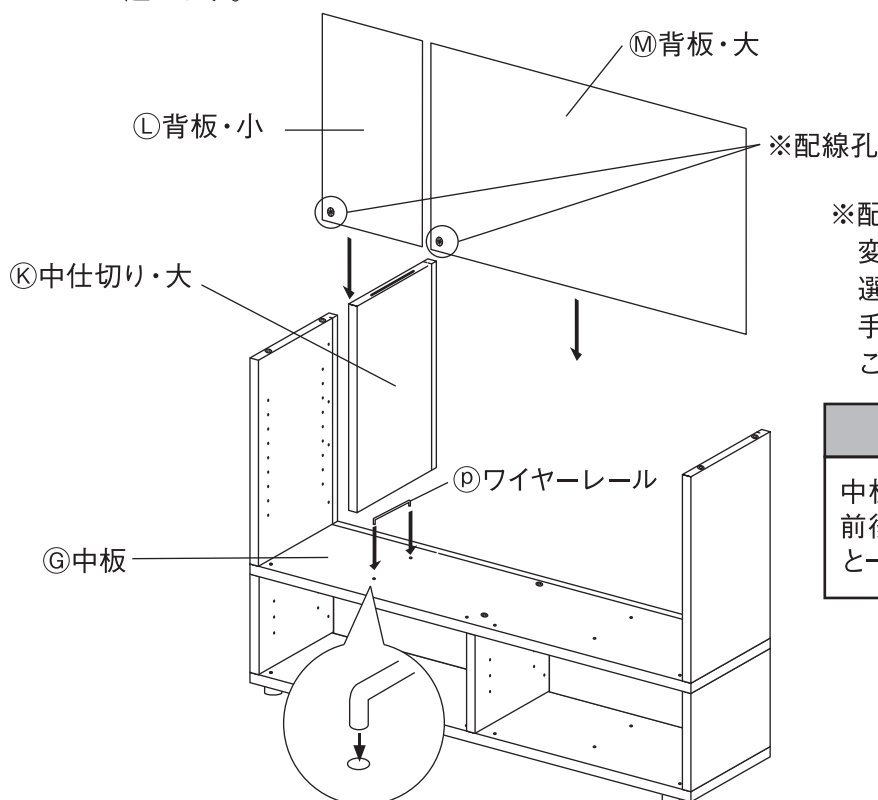
側板・大の取り付けについて

開口部は左右どちらにもできます。側板の向きは完成状態に合わせて取り付けてください。



9

- ① ハイタイプ追加セットの⑨ワイヤーレールを⑥中板に差し込みます。
- ② ハイタイプ追加セットの⑩中仕切り・大を、取り付けたワイヤーレールに下部の溝を合わせて置きます。この際、シャフトの取り付け穴を①側板・大A側に向けてください。
- ③ ⑩中仕切り・大を支えながら、溝に合わせてハイタイプ追加セットの⑪背板・小と⑫背板・大を差し込みます。



※配線孔の位置は、背板の差し込む向きを変えることで、「左、右」「上、下」から選べます。
手順 9 以降では、変更できませんのでご注意ください。

お願い (その他注意)

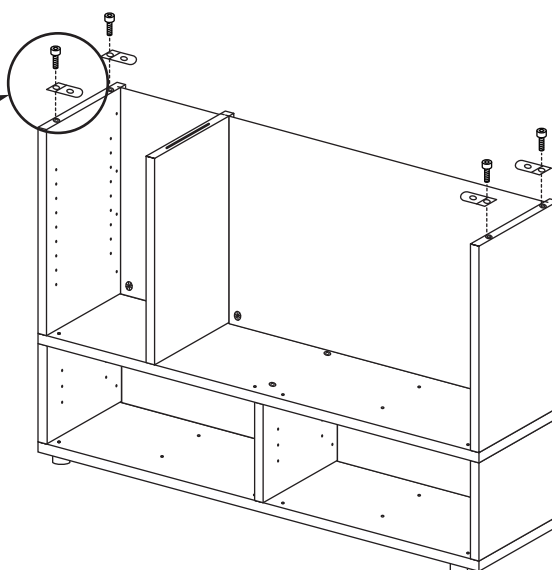
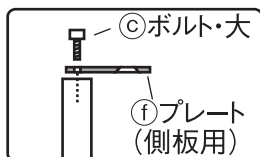
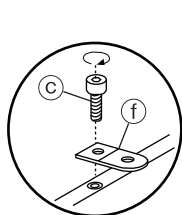
中板の溝に背板を入れるときに、背板を前後から軽くたたきながら入れ、しっかりと一番下まで差し込んでください。

プレート

2 段

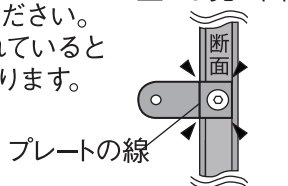
10

- ①側板・大A、④側板・大Bの上部に、⑥プレート（側板用）を線がある面を上にして、③ボルト・大を⑥六角レンチで締めつけて固定します。



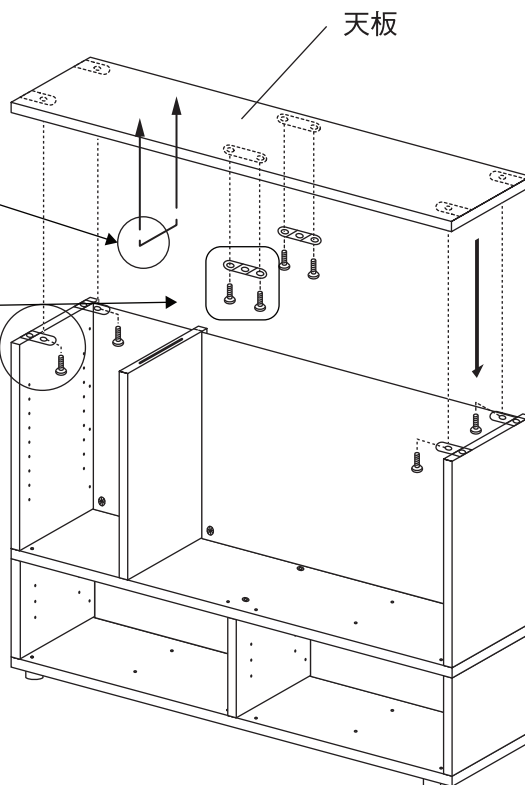
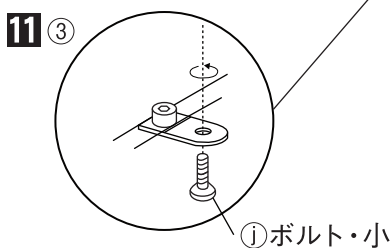
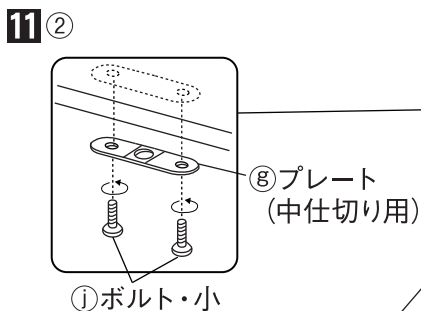
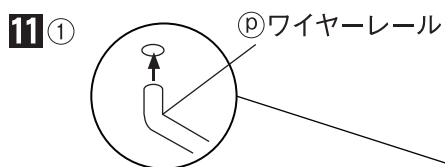
お願い（その他注意）

プレートの線と側板断面の端を
合わせて取り付けください。
プレートの位置がずれていると
天板がはまりづらくなります。



11

- ① ハイタイプ追加セットの⑨ワイヤーレールを④天板に差し込みます。
- ② ④天板に⑧プレート（中仕切り用）を、①ボルト・小で⑥六角レンチで締めつけて固定します。
- ③ 側板・大A、側板・大Bに取り付けた③ボルト・大の頭と④天板の穴位置、及び中仕切り・大の上部の溝と④天板に取り付けた⑨ワイヤーレールの位置を合わせ、背板を溝に入れながら④天板をのせます。それから、①ボルト・小で⑥プレート（側板側）の下側から⑥六角レンチで締めつけて固定します。



※ひきつづき、29 ページの共通手順 1 へおすすみください。

組立方法 (つづき)

オーク材

ウォールナット材

共通

プレート

3 段

※組立方法はオーク材、ウォールナット材 ともに共通です。

※以下の組立手順 **1** は、組み立て済みの幅 162.5 cm 基本セットと追加セットに、ハイト追加セットを取り付ける手順を説明しています。

※組み立て済みの幅 162.5cm 基本セットへ、ハイト追加セットと追加セットを取り付ける場合は、1度分解した上で、手順 **2** から組み立ててください。

※基本セットの組み立てから続けてハイト追加セットを連結する場合は手順 **2** から組み立ててください。



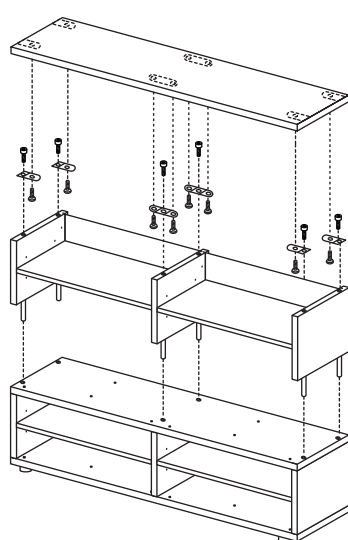
注意

- 組み立ては必ず2人以上でおこなってください。1人では部品を保持できずに組み立てしにくい部分があり、部品の落下による破損やケガをするおそれがあります。
- 組み立てには付属の六角レンチ、ドライバーを使い、電動工具は使用しないでください。電動工具による過度の締め付けなどで製品を破壊する可能性があります。
- 組み立て後、1週間程度経過しましたらボルトを締め直してください。使いはじめはゆるんでいる場合があり、そのまま使用すると破損やケガの原因となります。

1

敷物などの上に、組み立て済みのスタッキングキャビネット基本セットと追加セットを置き、組み立てた手順を逆にたどり、以下の様にパーツを取り外してください。

※手順については、スタッキングキャビネット基本セットに付属の「組立・取扱説明書」をご確認ください。

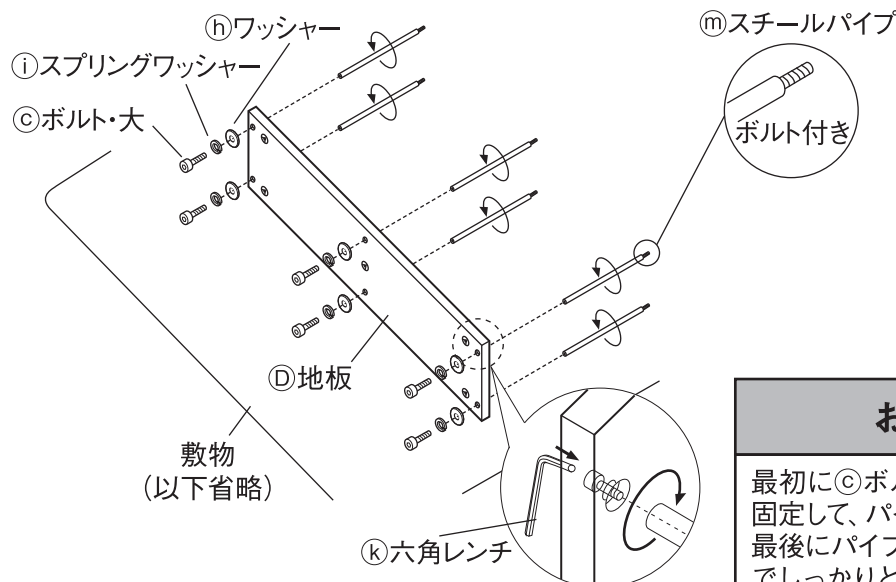


分解して外した部品は、手順 **10** から使用します。

最下段は分解せずに手順 **7** へおすすみください。

2

①地板を横にした状態で、③ボルト・大に①スプリングワッシャー、④ワッシャーを入れ、底面から①地板をはさむ様に⑤スチールパイプをねじ込み、⑥六角レンチでしっかりと締めつけます。



お願い (その他注意)

最初に③ボルト・大を⑥六角レンチで図のように固定して、パイプを回しながら取り付けてください。最後にパイプが回らない様に押さえ、⑥六角レンチでしっかりと③ボルト・大を締めつけてください。

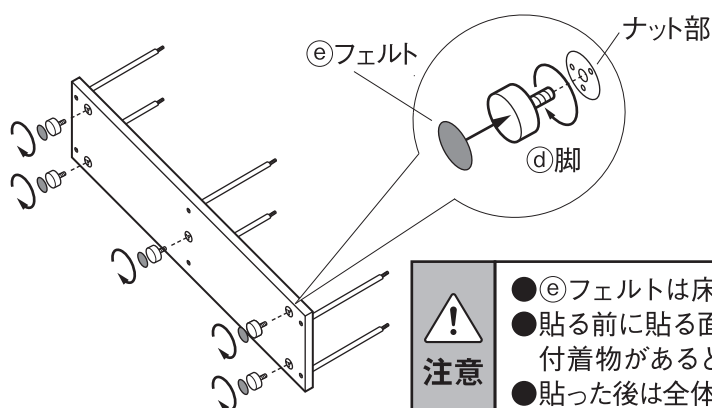
プレート

3段

3

④脚の底面に⑤フェルトを貼り、⑩地板のナット部に④脚を回しながら取り付けます。

※すでに取り付け済みの場合は、手順 4 へ進んでください。



注意

- ⑤フェルトは床面を保護するために使用してください。
- 貼る前に貼る面のほこりなどの付着物をふき取ってください。付着物があると粘着力が低下します。
- 貼った後は全体をしっかりと指で押さえて、ムラなく貼ってください。

別売の「スタッキングシェルフ」と天板の高さを合わせたい場合

ナット部

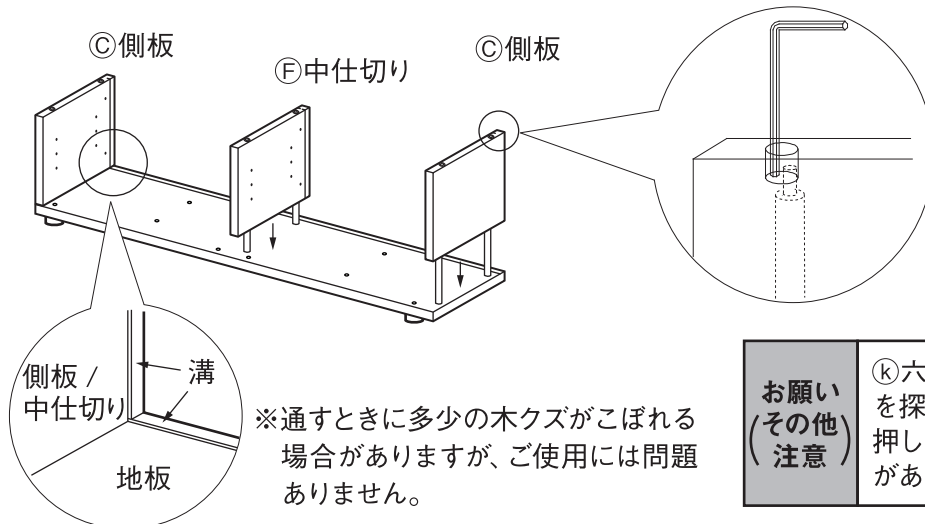


別売の「スタッキングシェルフ」と横に並べて高さを合わせたい場合は、④脚を取り付けず、⑩地板のナット部に直接⑤フェルトを貼ってください。その際はナット部が全て隠れるように貼ってください。また、スチールパイプと固定している③ボルト・大が⑩地板から飛び出していない事を確認してください。飛び出していると、床をキズつける原因となります。

4

⑩地板を底にした状態にして商品を起こし、取り付け済みのスチールパイプに③側板と⑥中仕切りを通します。

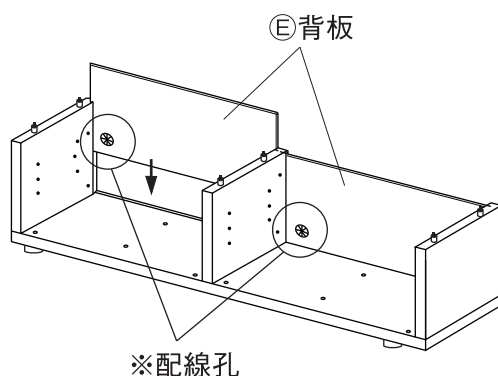
その際、溝の位置を確認して、前後をまちがえない様に取り付けてください。

お願い
(その他)
注意

⑧六角レンチを使ってスチールパイプを探りながら通してください。無理に押し込もうとすると、破損するおそれがあります。

5

③側板、⑥中仕切りの溝に合わせて⑤背板を差し込みます。



※配線孔の位置は、⑤背板の差し込む向きを変えることで、「左、右」「上、下」から選べます。手順 5 以降では、変更できませんのでご注意ください。

お願い
(その他)
注意

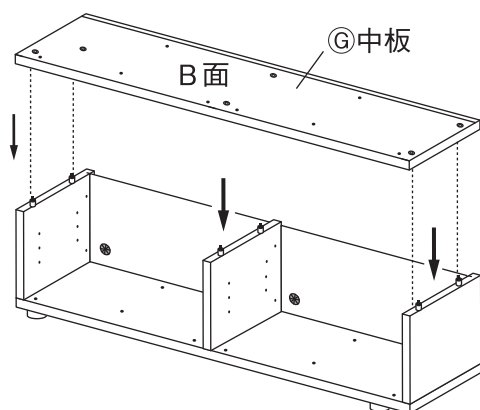
地板の溝に背板を入れるときに、背板を前後から軽くたたきながら入れ、しっかりと一番下まで差し込んでください。

別売の「ガラス扉」「木製扉」を取り付ける場合

別売の「ガラス扉」「木製扉」を取り付ける際は、手順 **6** に進む前にそれぞれの商品に付属の「組立・取扱説明書」をご確認して組み立ててください。

6

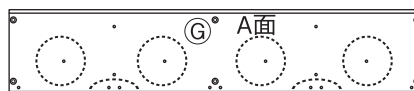
⑥中板を穴とスチールパイプの位置を合わせ、背板を溝に入れながら取り付けます。
この際に⑥中板のB面を上にしてください。



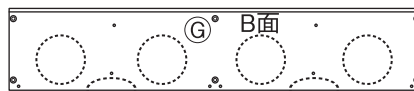
⑥中板のA面とB面について

⑥中板はA面とB面で穴の加工が違います。以下の図を参照に、正しい向きに取り付けてください。
まちがえて取り付けした場合、オプションパーツの扉と引出しを正しく取付ける事ができません。

丸の場所に
穴加工有り ⇒ A面

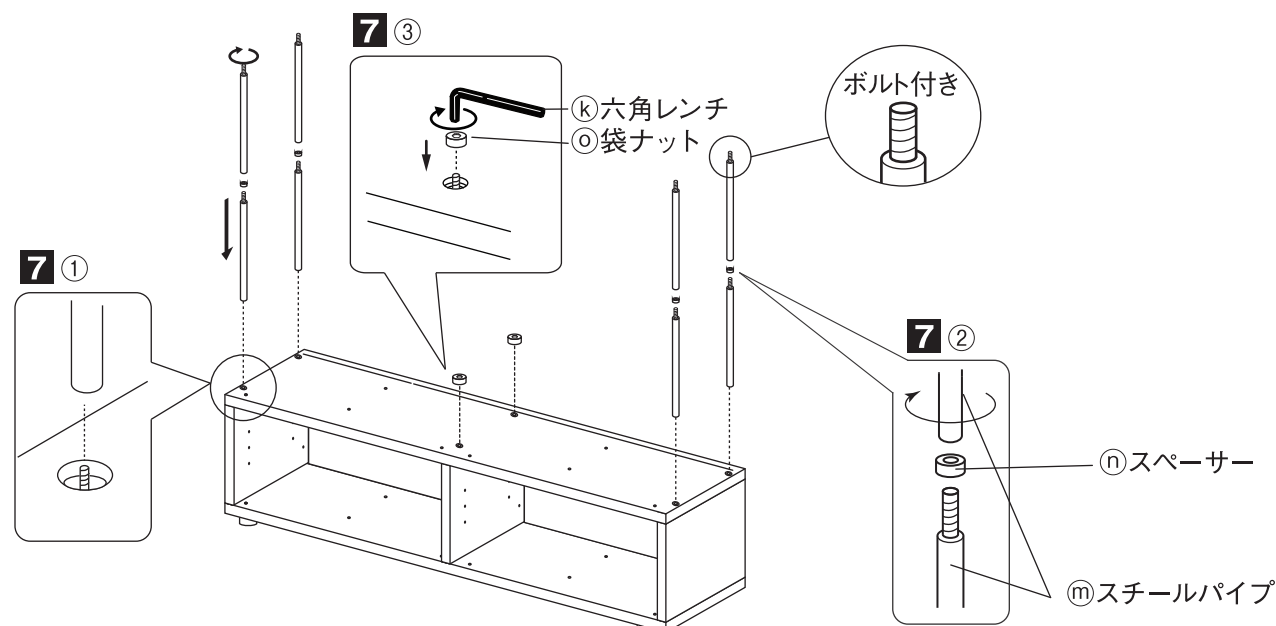


丸の場所に
穴加工無し ⇒ B面



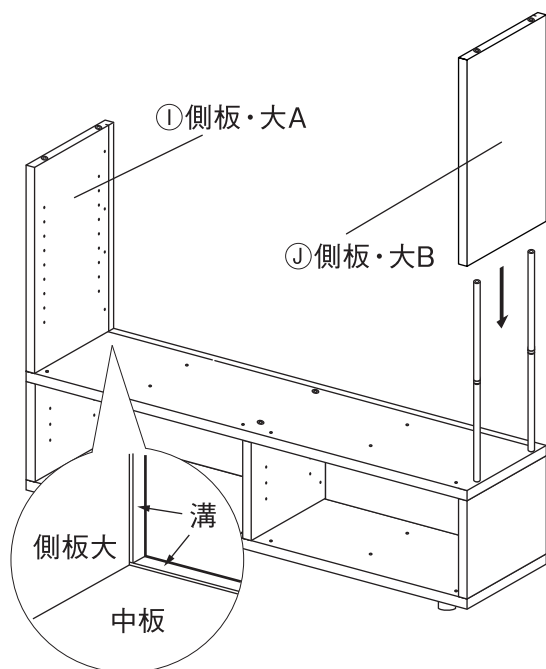
7

- ① ハイタイプ追加セットの③スチールパイプを、⑥中板の左右端の貫通穴のボルトに締め付けて固定します。
- ② 取り付けしたスチールパイプにハイタイプ追加セットの④スペーサーを取り付けて、ハイタイプ追加セットの③スチールパイプを取り付けます。
- ③ ⑥中板の中央の貫通穴に⑤袋ナットを締めつけます。



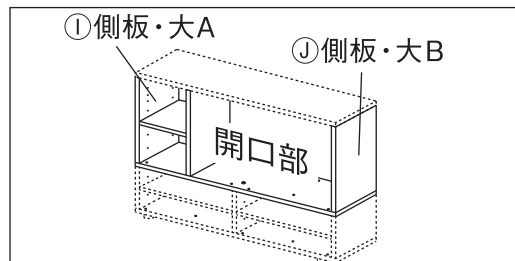
8

取り付け済みのスチールパイプにハイタイプ追加セットの①側板・大A、②側板・大Bを通します。その際、溝の位置を確認して、前後をまちがえない様に取り付けてください。

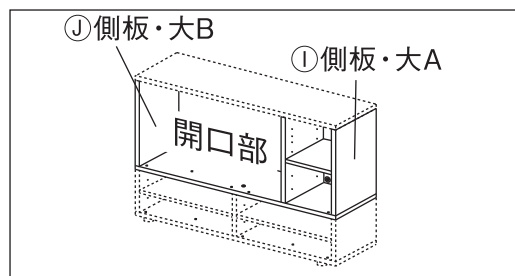


側板・大の取り付けについて

開口部は左右どちらにもできます。側板の向きは完成状態に合わせて取り付けてください。

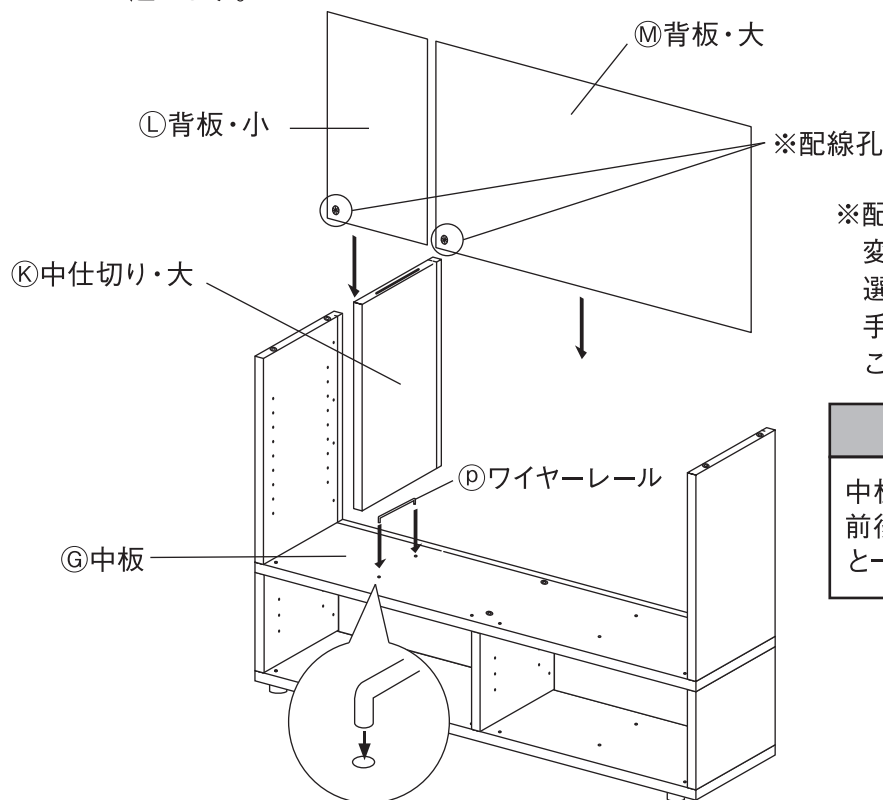


※組立方法はこちらで説明しています。



9

- ① ハイタイプ追加セットの⑨ワイヤーレールを⑥中板に差し込みます。
- ② ハイタイプ追加セットの⑩中仕切り・大を、取り付けたワイヤーレールに下部の溝を合わせて置きます。この際、シャフトの取り付け穴を①側板・大A側に向けてください。
- ③ ⑩中仕切り・大を支えながら、溝に合わせてハイタイプ追加セットの⑪背板・小と⑫背板・大を差し込みます。



※配線孔の位置は、背板の差し込む向きを変えることで、「左、右」「上、下」から選べます。
手順 9 以降では、変更できませんのでご注意ください。

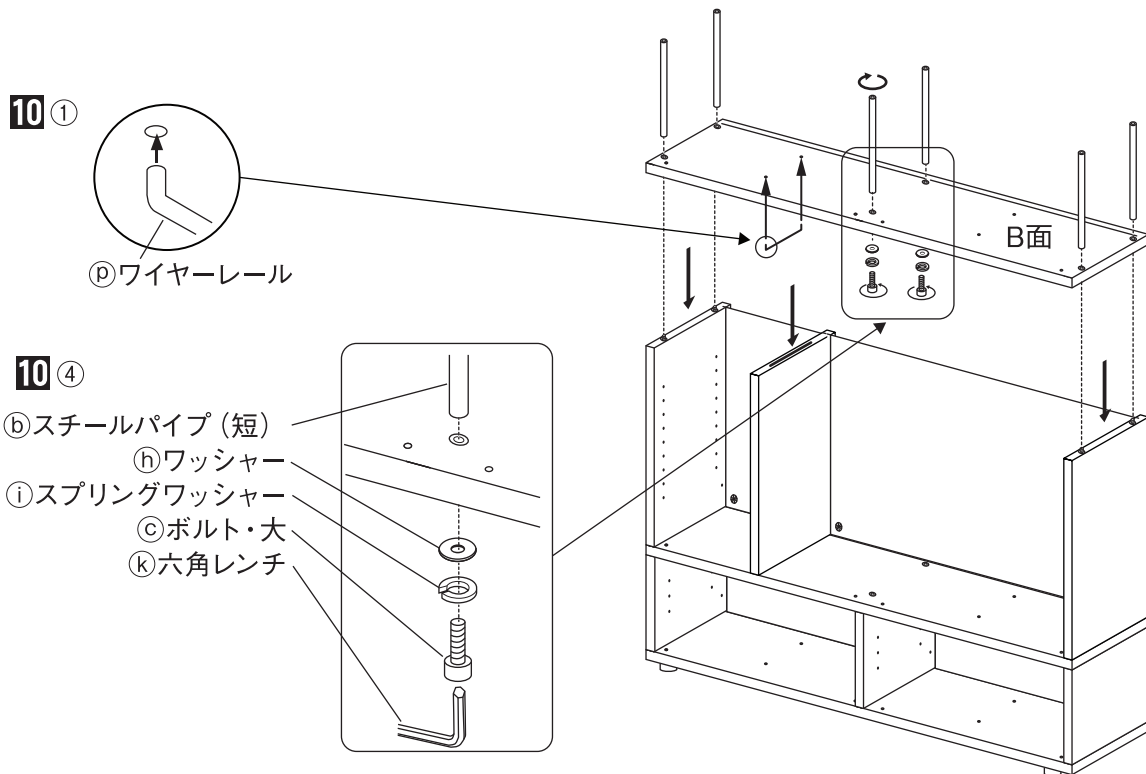
お願い (その他注意)

中板の溝に背板を入れるときに、背板を前後から軽くたたきながら入れ、しっかりと一番下まで差し込んでください。

10

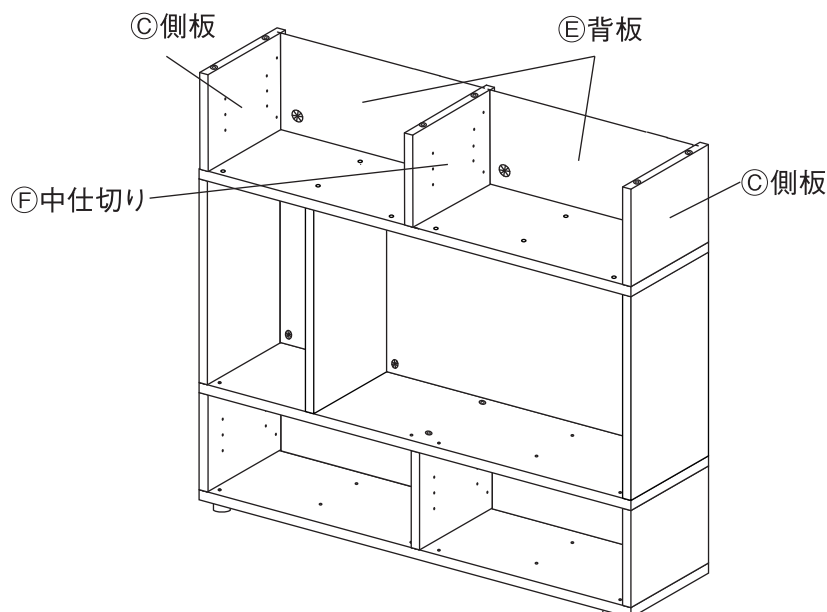
- ① ハイタイプ追加セットの⑩ワイヤーレールを、ハイタイプ追加セットの⑥中板のA面に差し込みます。
- ② ⑥中板をワイヤーレールと⑫中仕切り・大の溝、穴とスチールパイプの位置を合わせ、背板を溝に入れながら取り付けます。この際に⑥中板のB面を上にご覧ください。
- ③ ⑧スチールパイプ (短) を⑥中板の左右端の貫通穴のボルトに締め付けて固定します。
- ④ ⑥中板の中央の貫通穴に③ボルト・大、①スプリングワッシャー、②ワッシャーを使って⑧スチールパイプ (短) を締め付けて固定します。

※⑥中板のA面、B面の見分け方は手順 6 を参照してください。



11

手順 4 ～ 手順 5 を参照し、取り付けしたスチールパイプに③側板と⑦中仕切りを取り付け、さらに⑤背板を取り付けます。



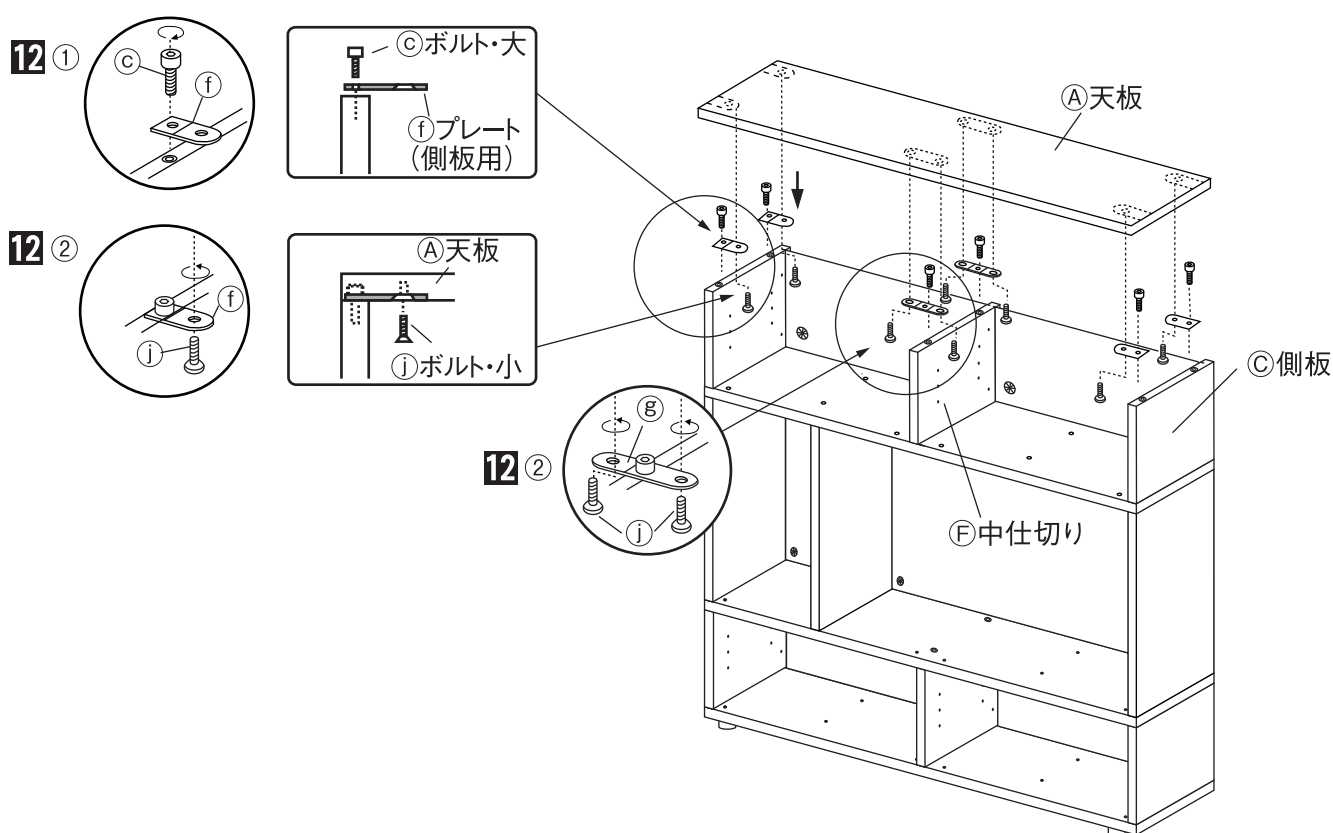
別売の「木製扉」を取り付ける場合

別売の「木製扉」を取り付ける際は、手順 **12** に進む前に商品に付属の「組立・取扱説明書」をご確認して組み立ててください。

12

① ③側板と⑥中仕切りの上部に、それぞれ④プレート（側板用）、⑤プレート（中仕切り用）を線がある面を上にして、③ボルト・大を⑫六角レンチで締めつけて固定します。

② ③ボルト・大の頭と、①天板の穴位置を合わせながら①天板をのせ、④ボルト・小で④⑤プレートそれぞれの下側から⑫六角レンチで締めつけて固定します。



※ひきつづき、29 ページの共通手順 **1** へおすすみください。

組立方法 (つづき)

オーク材

ウォールナット材

共通

ナット

2 段

※組立方法はオーク材、ウォールナット材ともに共通です。



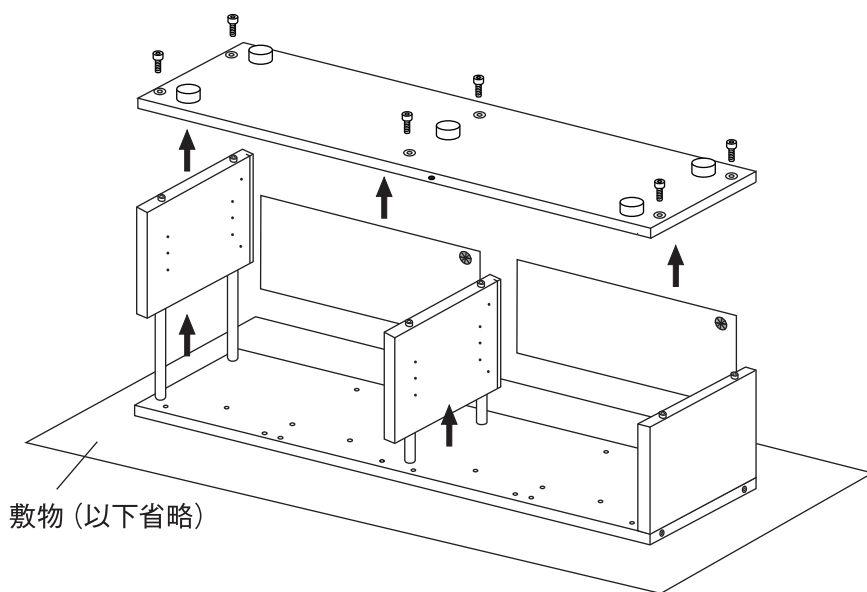
注意

- 組み立ては必ず2人以上でおこなってください。1人では部品を保持できずに組み立てしにくい部分があり、部品の落下による破損やケガをするおそれがあります。
- 組み立てには付属の六角レンチ、ドライバーを使い、電動工具は使用しないでください。電動工具による過度の締め付けなどで製品を破壊する可能性があります。
- 組み立て後、1週間程度経過しましたらボルトを締め直してください。使いはじめはゆるんでいる場合があり、そのまま使用すると破損やケガの原因となります。

1

- ① 敷物などの上にお手持ちのスタッキングキャビネット（基本セット）を、地板を上にして置き、組み立てた手順を逆にたどり、すべてのパーツを取り外してください。

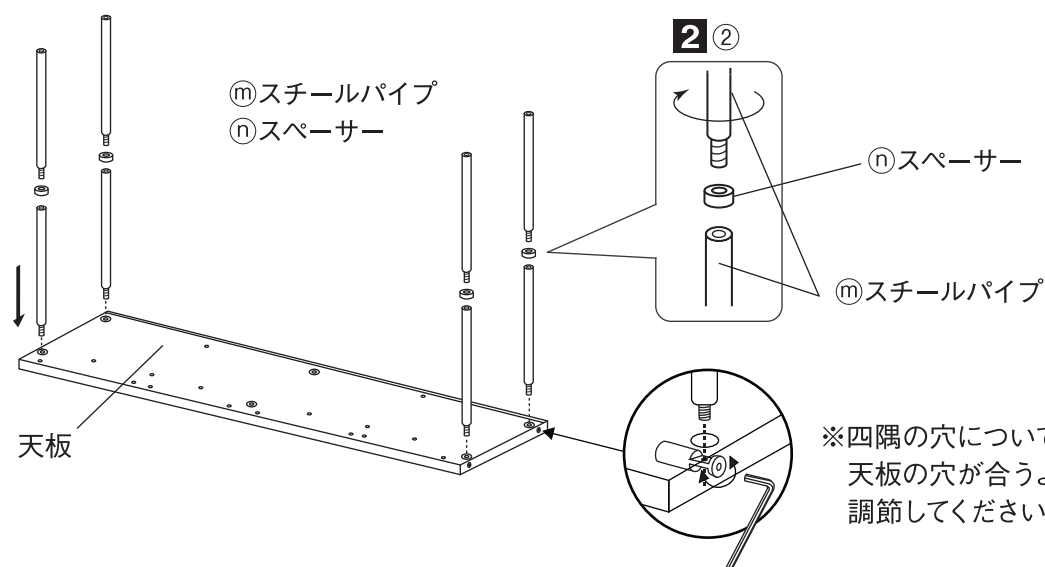
※手順については、スタッキングキャビネット基本セットに付属の「組立・取扱説明書」をご確認ください。



※分解して外した部品は手順**6**から使用しますので一旦保管してください。

2

- ① ハイタイプ追加セットの㊸スチールパイプを、手順**1**で分解した基本セットの天板の左右端に締め付けて固定します。
- ② 取り付けたスチールパイプに㊹スペーサーを取り付けて、㊸スチールパイプを締めつけます。



※四隅の穴については金具の穴と天板の穴が合うように六角レンチで調節してください。

組立方法 (つづき)

オーク材

ウォールナット材

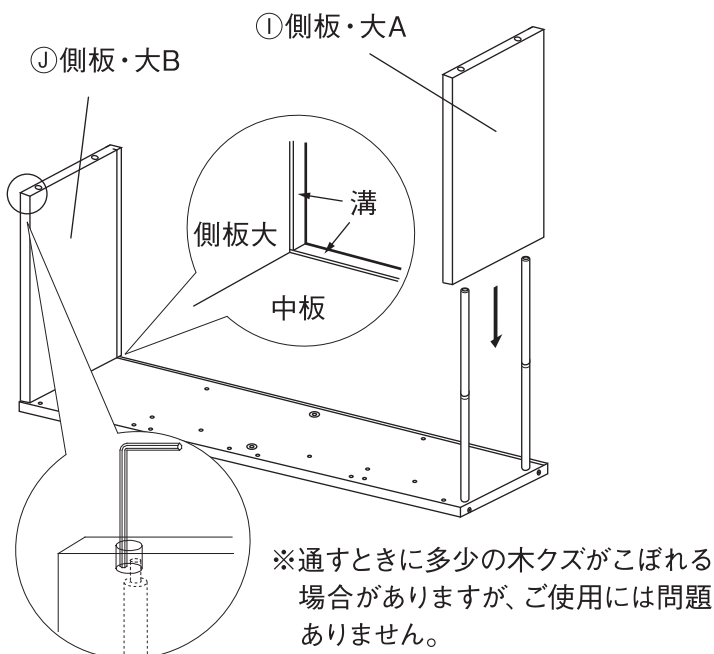
共通

ナット

2 段

3

取り付け済みのスチールパイプにハイタイプ追加セットの①側板・大A、②側板・大Bを通します。その際、溝の位置を確認して、前後をまちがえない様に取り付けてください。

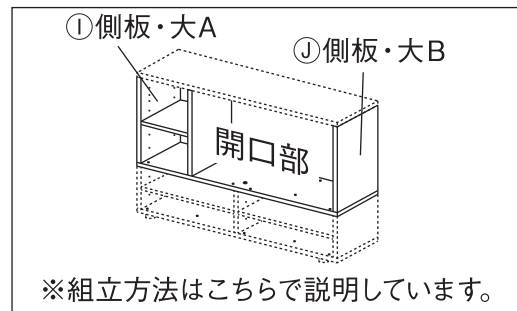


お願い
(その他
注意)

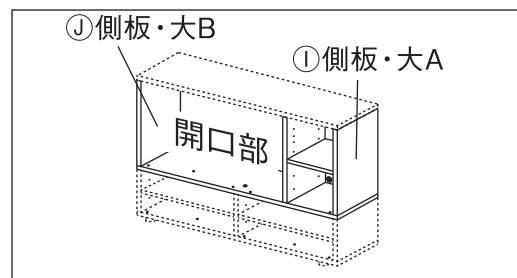
④六角レンチを使ってスチールパイプを探りながら通してください。無理に押し込もうとすると、破損するおそれがあります。

側板・大の取り付けについて

開口部は左右どちらにもできます。側板の向きは完成状態に合わせて取り付けてください。

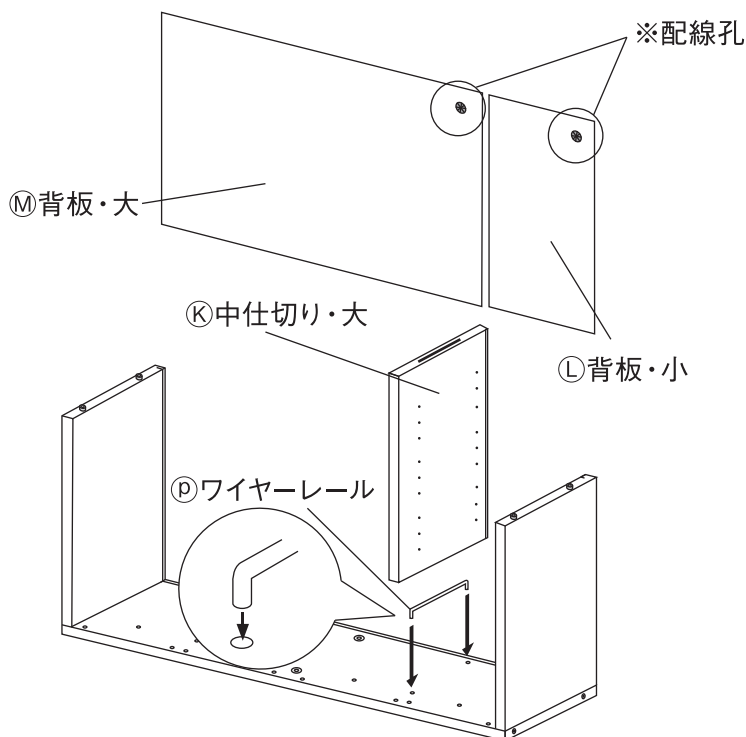


※組立方法はこちらで説明しています。



4

- ① ハイタイプ追加セットの⑨ワイヤーレールを天板に差し込みます。
- ② ハイタイプ追加セットの⑧中仕切り・大を、取り付けたワイヤーレールに下部の溝に合わせて置きます。この際、シャフトの取り付け穴を①側板・大Aに向けてください。
- ③ ⑧中仕切り・大を支えながら、溝に合わせてハイタイプ追加セットの⑩背板・小と⑪背板・大を差し込みます。



※配線孔の位置は、背板の差し込む向きを変えることで、「左、右」「上、下」から選べます。

手順 4 以降では、変更できませんのでご注意ください。

お願い (その他注意)

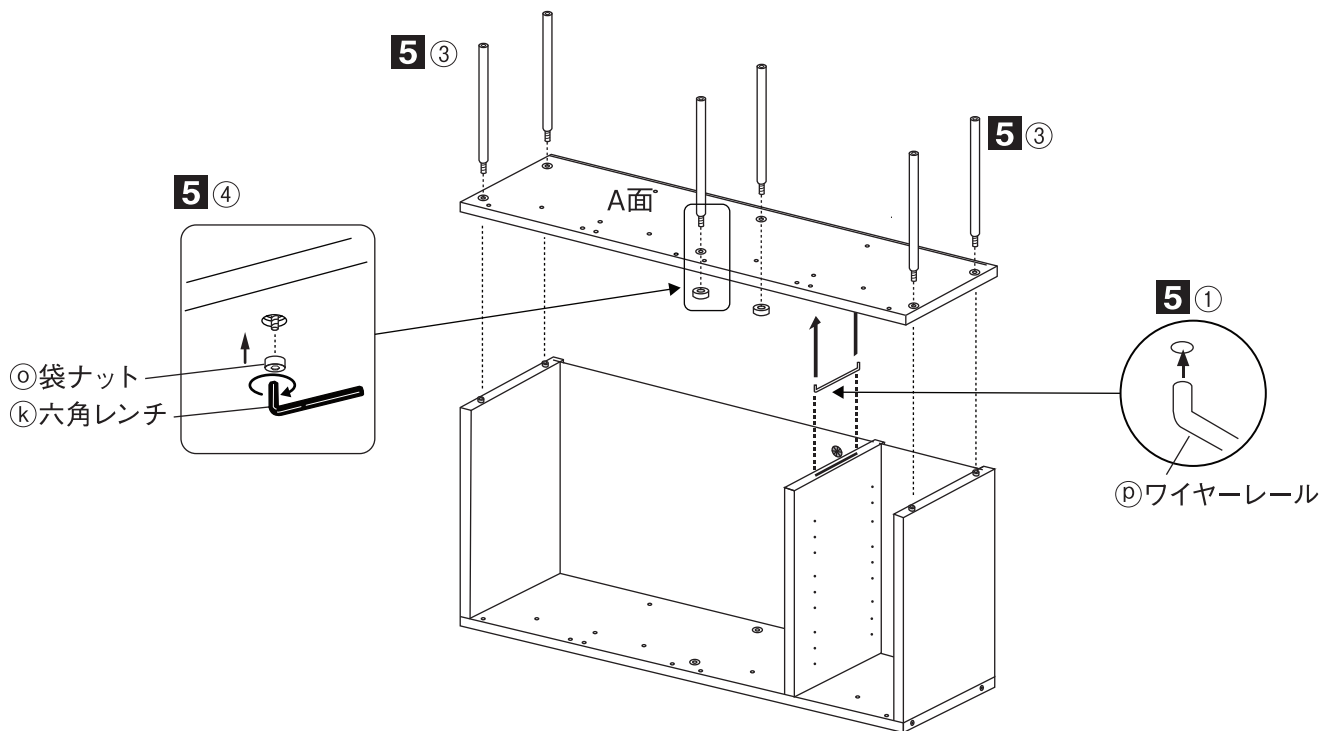
中板の溝に背板を入れるときに、背板を前後から軽くたたきながら入れ、しっかりと一番下まで差し込んでください。

ナット

2 段

5

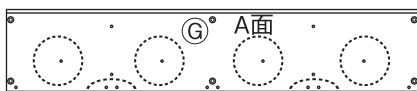
- ① ハイタイプ追加セットの⑩ワイヤーレールを、ハイタイプ追加セットの⑥中板のB面に差し込みます。
- ② ワイヤーレールを取り付けた⑥中板をひっくり返してA面を上にして、ワイヤーレールと⑫中仕切り・大の溝、穴とスチールパイプの位置を合わせ、背板を溝に入れながら取り付けます。
- ③ ⑭スチールパイプを⑥中板の左右端の貫通穴に締め付けて固定します。
- ④ ⑥中板の中央の貫通穴に⑮袋ナットを使って⑭スチールパイプを締め付けて固定します。



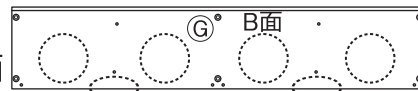
⑥中板のA面とB面について

⑥中板はA面とB面で穴の加工が違います。以下の図を参照に、正しい向きに取り付けてください。まちがえて取り付けした場合、オプションパーツの扉と引出しを正しく取付ける事ができません。

丸の場所に
穴加工有り⇒ A面

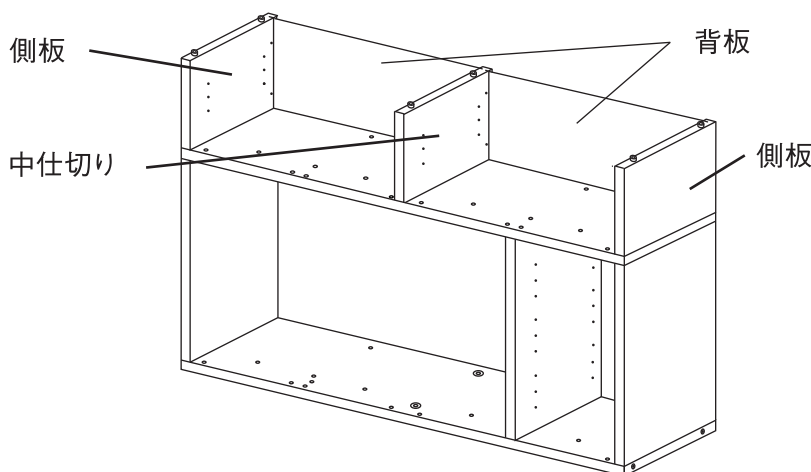


丸の場所に
穴加工無し⇒ B面



6

- 手順 **1** で外した側板、中仕切り、背板を取り付けます。
※取り付け手順については基本セットの「組立・取扱説明書」をご確認ください。



組立方法 (つづき)

オーク材

ウォールナット材

共通

ナット

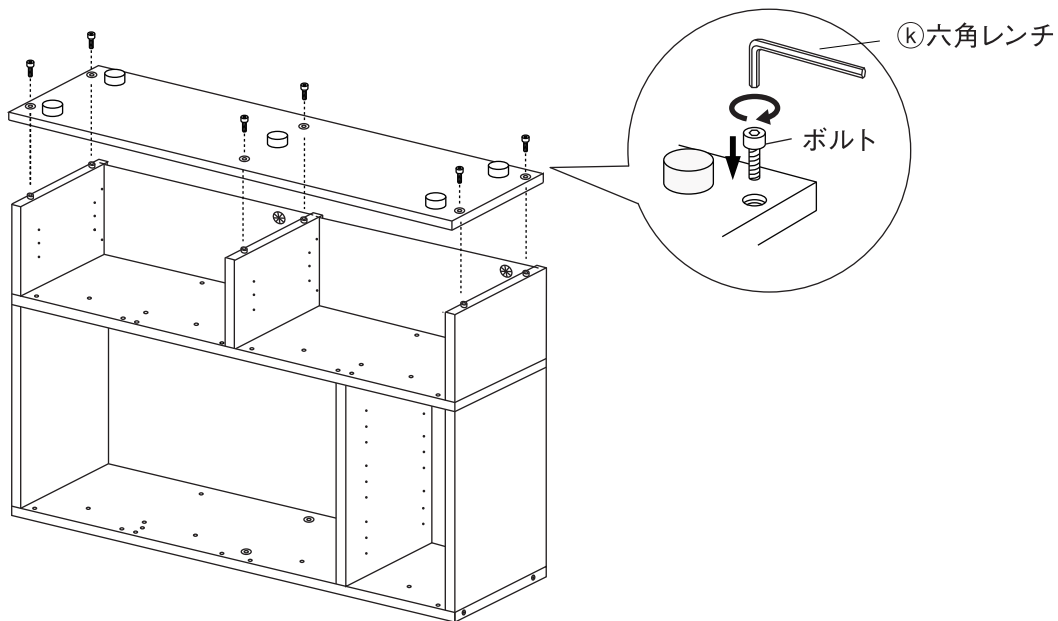
2段

7

- ① 手順 **1** にて外した地板を穴とスチールパイプの位置を合わせて取り付けます。
- ② ボルト・大を全ての穴に取り付けて、**(k)**六角レンチを使って締め付けます。

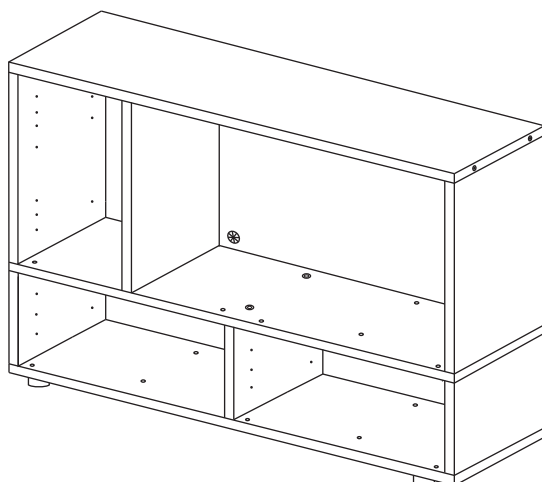
別売の「ガラス扉」「木製扉」を取り付ける場合

別売の「ガラス扉」「木製扉」を取り付ける際は、手順 **7** に進む前にそれぞれの商品に付属の「組立・取扱説明書」をご確認して組み立ててください。



8

本体をひっくり返し、脚を下にして置きます。



お願い (その他注意)

必ず二人以上で左右を支えながら上下の向きを変えてください。
一人では支えきれず、転倒による破損やケガをするおそれがあります。

※ひきつづき、29 ページの共通手順 **1** へおすすみください。

組立方法（つづき）

オーク材

ウォールナット材

共通

ナット

3 段

※組立方法はオーク材、ウォールナット材 ともに共通です。

※以下の組立方法手順 **1** は既に組み立て済みの基本セットと追加セットへハイタイプ追加セットを連結する手順となっています。



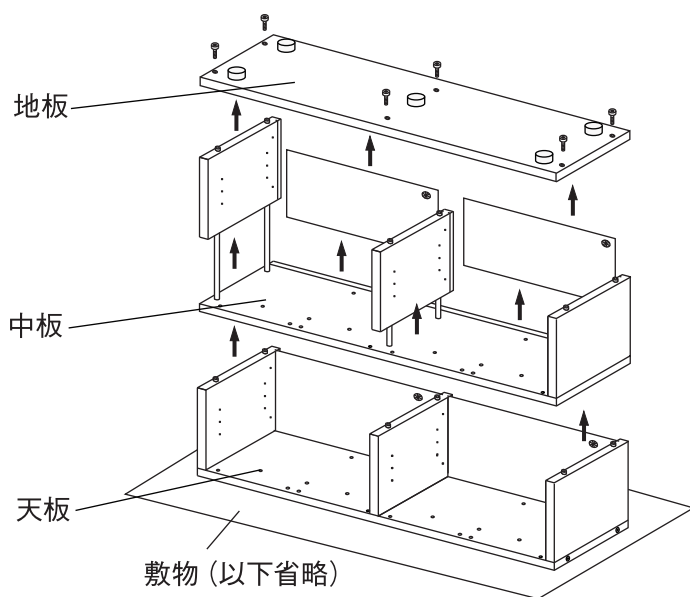
注意

- 組み立ては必ず2人以上でおこなってください。1人では部品を保持できずに組み立てしにくい部分があり、部品の落下による破損やケガをするおそれがあります。
- 組み立てには付属の六角レンチ、ドライバーを使い、電動工具は使用しないでください。電動工具による過度の締め付けなどで製品を破壊する可能性があります。
- 組み立て後、1週間程度経過しましたらボルトを締め直してください。使いはじめはゆるんでいる場合があり、そのまま使用すると破損やケガの原因となります。

1

敷物などの上にお手持ちのスタッキングキャビネット（基本セット+追加セット）を、地板を上にして置き、組み立てた手順を逆にたどり、以下のパーツを取り外してください。

※手順については、スタッキングキャビネット基本セットに付属の「組立・取扱説明書」をご確認ください。



最下段（地板～中板）は分解してください。
分解して外した部品は手順 **2** から使います。

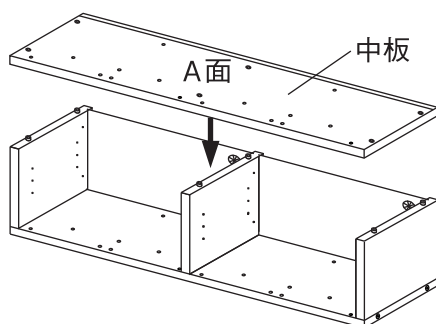
2 段目（天板～中板）は分解せず、
このまま手順 **2** へおすすみください。

別売の「木製扉」を取り付ける場合

別売の「木製扉」を取り付ける際は、手順 **2** に進む前に商品に付属の「組立・取扱説明書」をご確認して組み立ててください。

2

分解して取り外した基本セットに、中板の貫通穴とスチールパイプの位置を合わせながら、A面を上にして取り付けます。



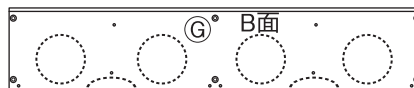
中板のA面とB面について

中板はA面とB面で穴の加工が違います。以下の図を参照に、正しい向きに取り付けてください。
まちがえて取り付けた場合、オプションパーツの扉と引出しを正しく取付ける事ができません。

丸の場所に
穴加工有り ⇒ A面



丸の場所に
穴加工無し ⇒ B面



組立方法 (つづき)

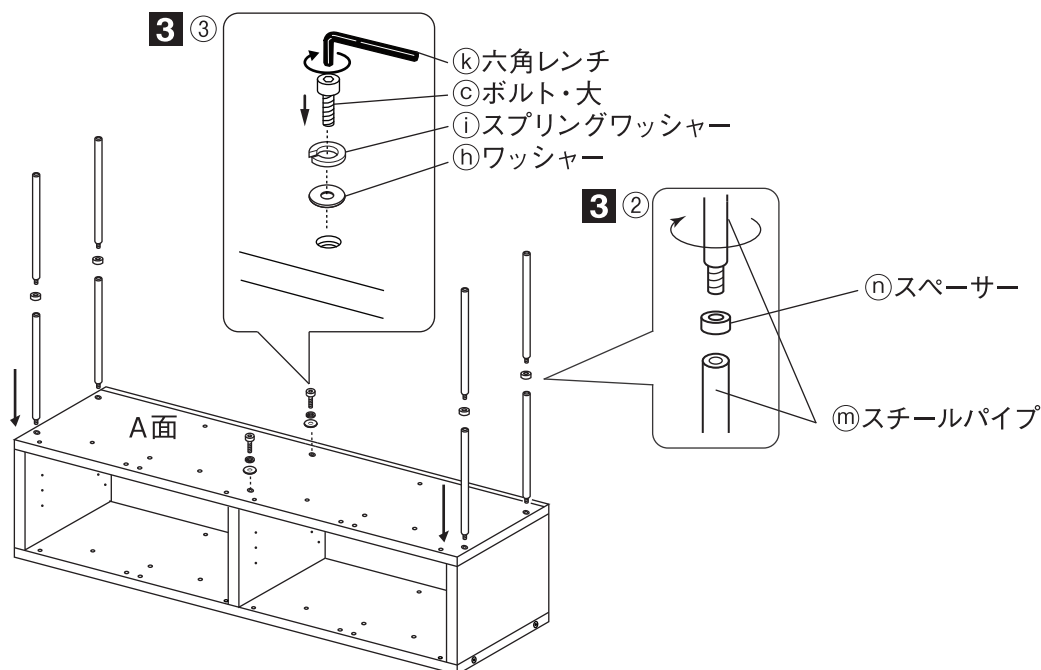
オーク材 ウォールナット材 共通

ナット

3段

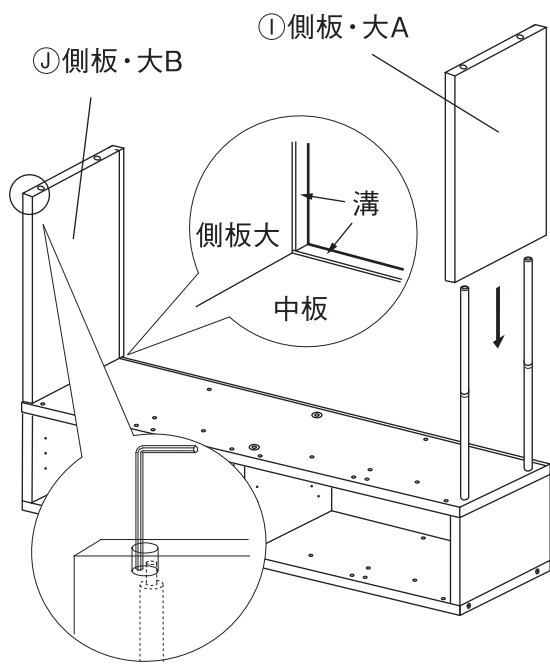
3

- ① ハイタイプ追加セットの㊓スチールパイプを、中板の左右端に締め付けて固定します。
- ② 取り付けしたスチールパイプに㊎スペーサーを取り付けて、㊓スチールパイプを締めつけます。
- ③ 中板の中央の貫通穴に㊐ボルト・大、㊑スプリングワッシャー、㊒ワッシャーを締めつけます。



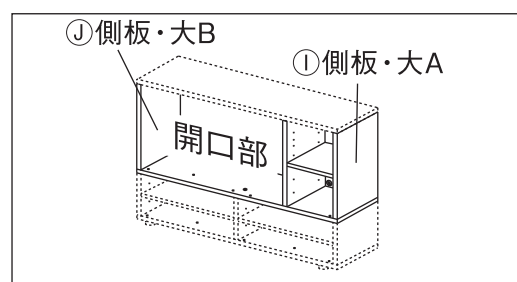
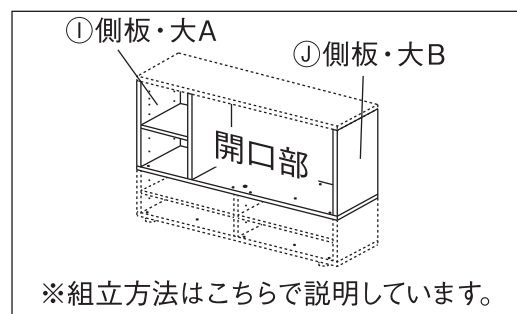
4

- 取り付け済みのスチールパイプにハイタイプ追加セットの①側板・大A、②側板・大Bを通します。その際、溝の位置を確認して、前後をまちがえない様に取り付けてください。



側板・大の取り付けについて

開口部は左右どちらにもできます。側板の向きは完成状態に合わせて取り付けてください。



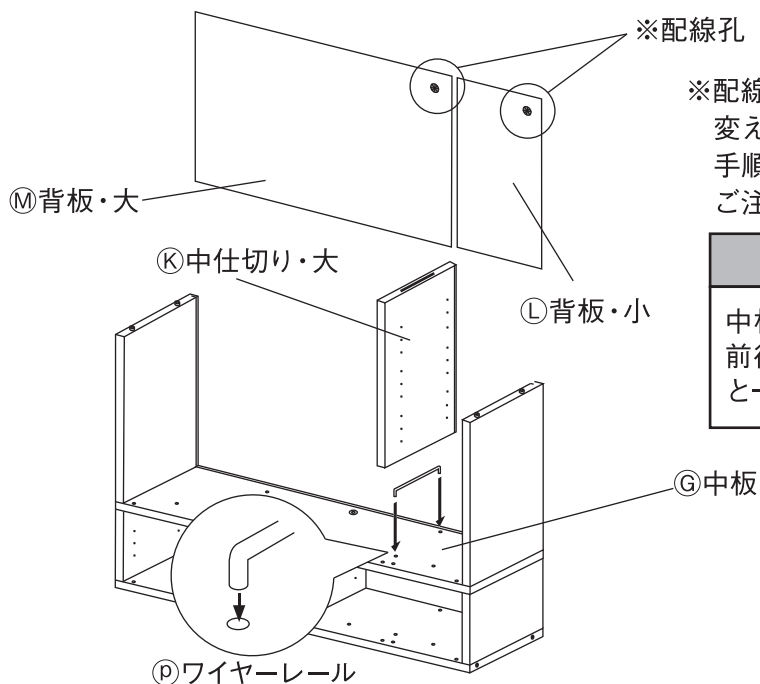
お願い
(その他)
注意

㊓六角レンチを使ってスチールパイプを探りながら通してください。無理に押し込もうとすると、破損するおそれがあります。

※通すときに多少の木クズがこぼれる場合がありますが、ご使用には問題ありません。

5

- ① ハイタイプ追加セットの⑨ワイヤーレールを⑧中板に差し込みます。
- ② ハイタイプ追加セットの⑫中仕切り・大を、取り付けたワイヤーレールに下部の溝を合わせて置きます。
この際、シャフトの取り付け穴を①側板・大Aに向けてください。
- ③ ⑫中仕切り・大を支えながら、溝に合わせてハイタイプ追加セットの⑬背板・小と⑭背板・大を差し込みます。



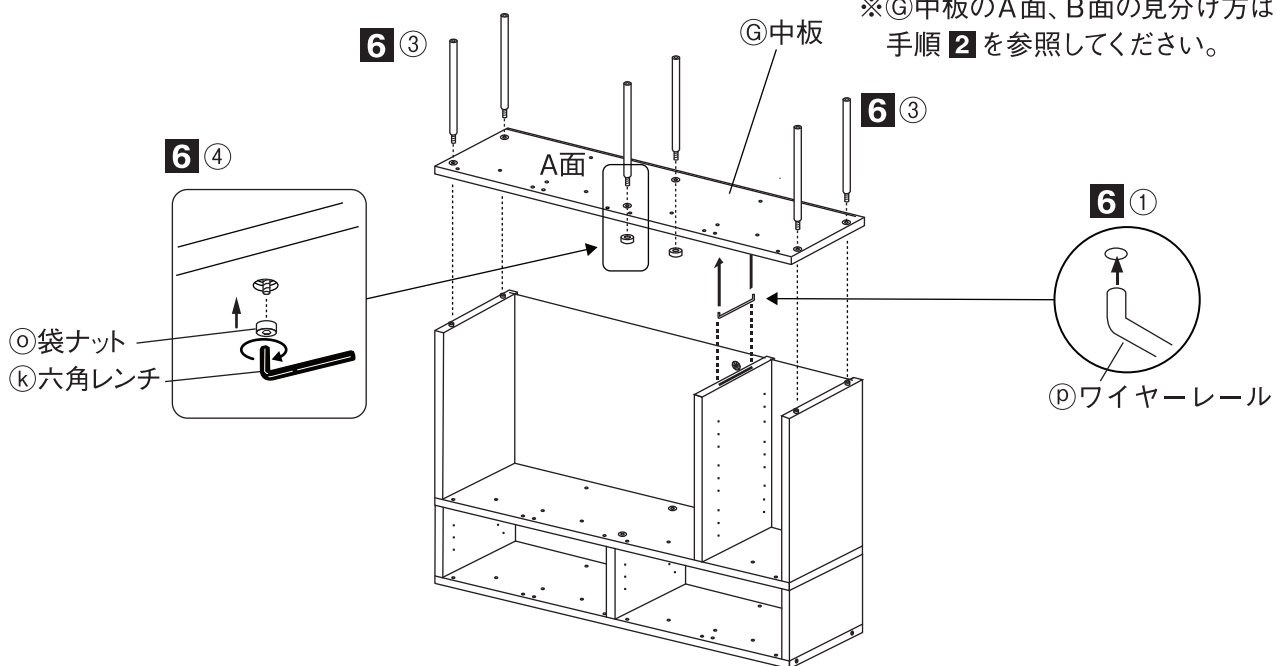
※配線孔の位置は、背板の差し込む向きを変えることで、「左、右」「上、下」から選べます。
手順**5**以降では、変更できませんのでご注意ください。

お願い (その他注意)

中板の溝に背板を入れるときに、背板を前後から軽くたたきながら入れ、しっかりと一番下まで差し込んでください。

6

- ① ハイタイプ追加セットの⑨ワイヤーレールを、ハイタイプ追加セットの⑧中板のB面に差し込みます。
- ② ワイヤーレールを取り付けた⑧中板をひっくり返してA面を上にして、ワイヤーレールと⑫中仕切り・大の溝、穴とスチールパイプの位置を合わせ、背板を溝に入れながら取り付けます。
- ③ ⑮スチールパイプを⑧中板の左右端の貫通穴に締め付けて固定します。
- ④ ⑧中板の中央の貫通穴に⑯袋ナットを使って⑮スチールパイプを締め付けて固定します。



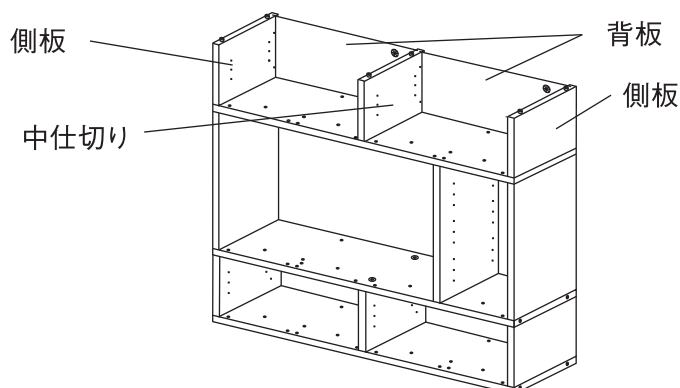
ナット

3段

7

手順 **1** で外した側板、中仕切り、背板を取り付けます。

※取り付け手順については基本セットの「組立・取扱説明書」をご確認ください。



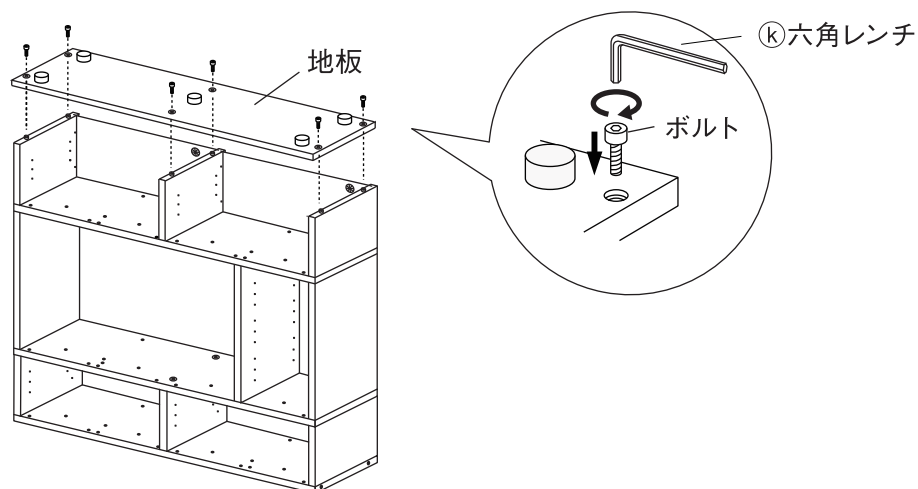
8

① 手順 **1** にて外した地板を穴とスチールパイプの位置を合わせて取り付けます。

② ボルトを全ての穴に取り付けて、**(K)**六角レンチを使って締め付けます。

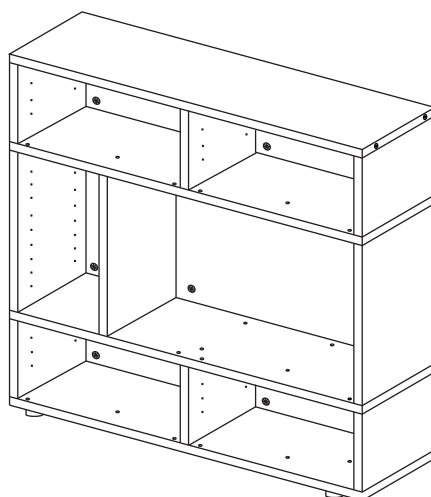
別売の「ガラス扉」「木製扉」を取り付ける場合

別売の「ガラス扉」「木製扉」を取り付ける際は、手順 **7** に進む前にそれぞれの商品に付属の「組立・取扱説明書」をご確認して組み立ててください。



9

本体をひっくり返し、脚を下にして置きます。



お願い（その他注意）

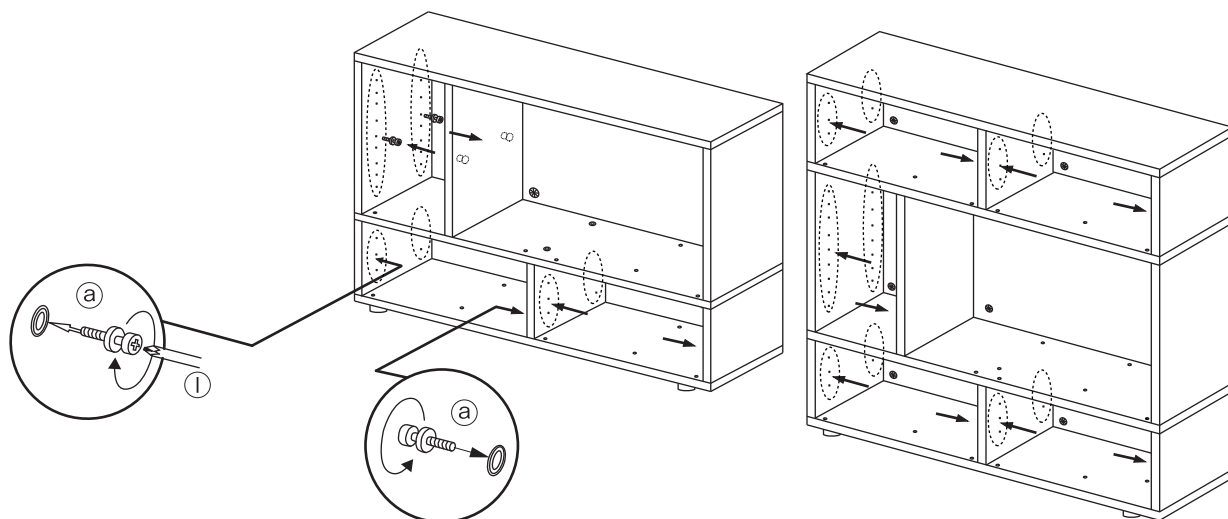
必ず二人以上で左右を支えながら上下の向きを変えてください。
一人では支えきれず、転倒による破損やケガをするおそれがあります。

※ひきつづき、29 ページの共通手順 **1** へおすすみください。

共通

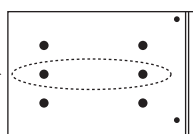
1

③棚板（基本セット、追加セット付属）、及びハイトップ追加セットの④棚板・小を取り付ける場所に
⑤シャフトを⑥ドライバーのプラス側を使って締めつけてください。



別売の「引出し・大」を設置される場合

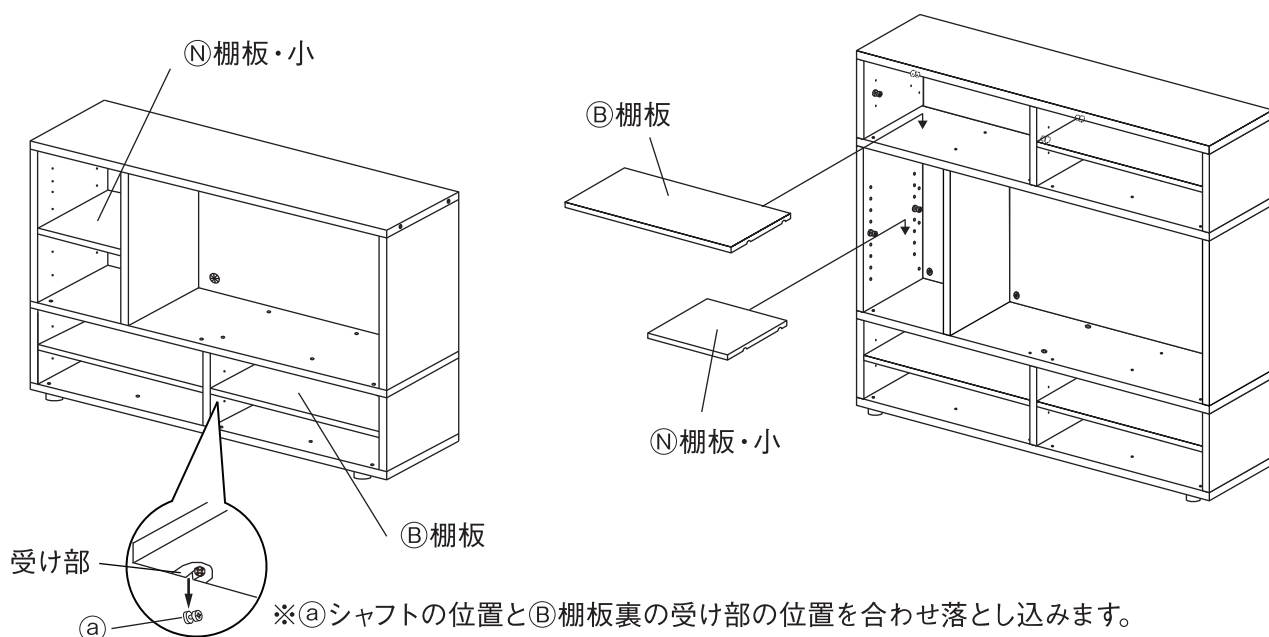
中間 →



別売の「引出し・大」を設置する場合は、⑤シャフトは左図の位置（中間）に取り付けてください。

2

棚板裏の受け部と⑤シャフトの位置を合わせ棚板を取り付けます。
棚板は最後に軽くたたいて⑤シャフトにしっかりとはめてください。
無理にたたいてはめようとすると、破損の原因となりますので、ご注意ください。



共通

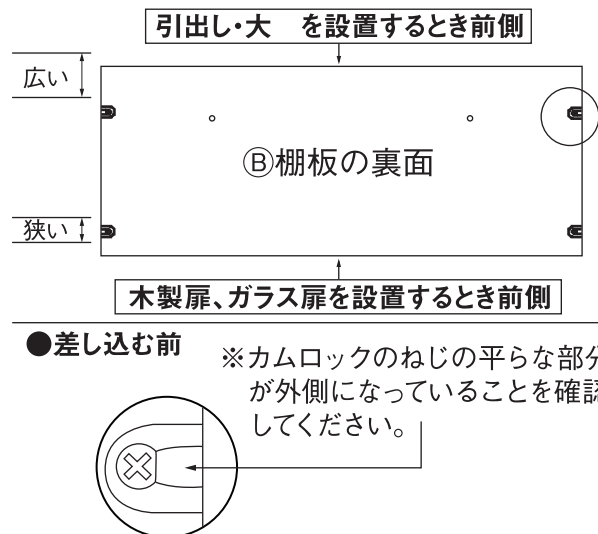
棚板の取り付け向きについて

⑧棚板は別売パーツの取り付けパターンによって前後の取り付け向きを変更する必要があります。
下の注意事項をご確認いただき正しく設置してください。

※別売の「引出し・大」を設置される場合
幅の広い方を前に設置してください。

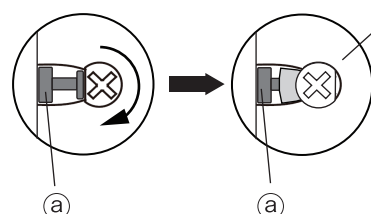
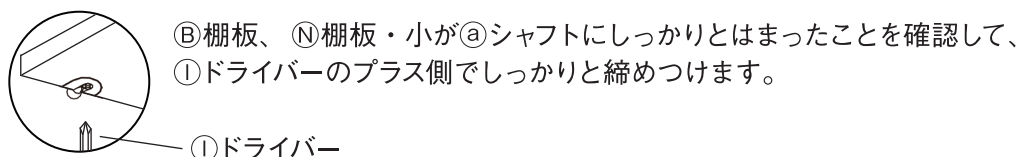
※別売の「木製扉、ガラス扉」を設置される場合
幅の狭い方を前に設置してください。

※別売の「仕切り板」を設置される場合
棚板を設置できません。



3

棚板のカムロックのネジを①ドライバーでしっかりと締めつけます。



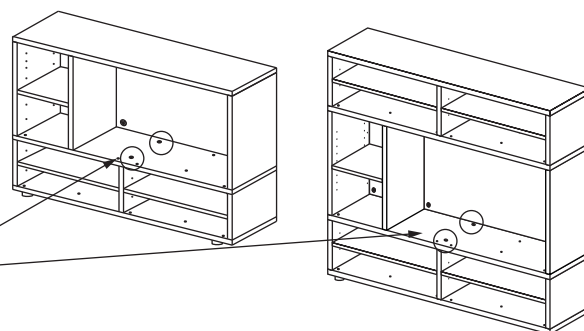
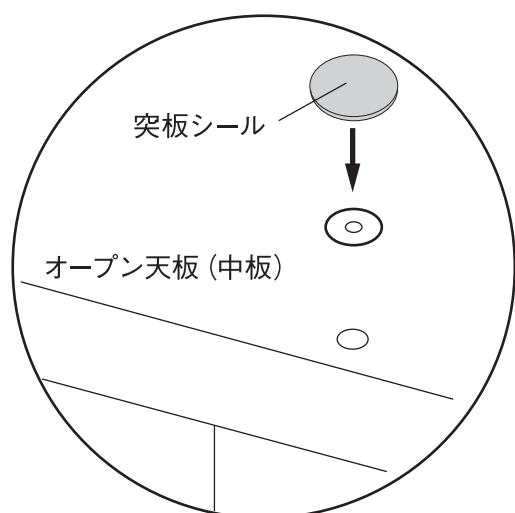
お願い
(その他
注意)

棚板を外す際は、カムロックネジを反時計回りにしてから、棚板を上を持ち上げて、シャフトから外してください。

4

ボルト、袋ナットに見える部分に 突板シールを貼ります。

表面に見える金属面が気になる場合は、上から木目方向を合わせて貼ってください。



お願い
(その他
注意)

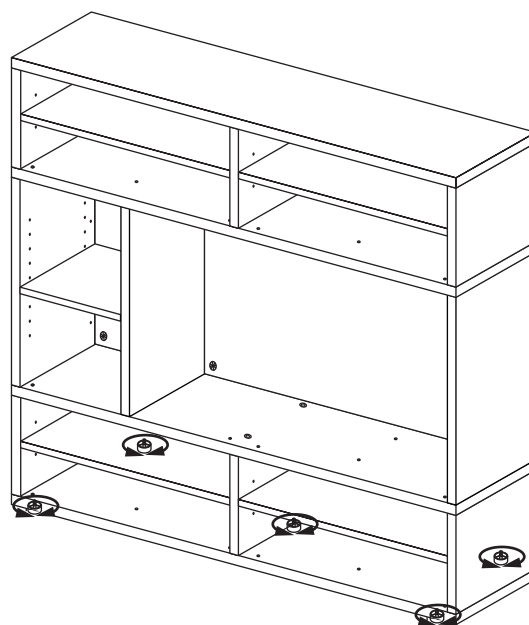
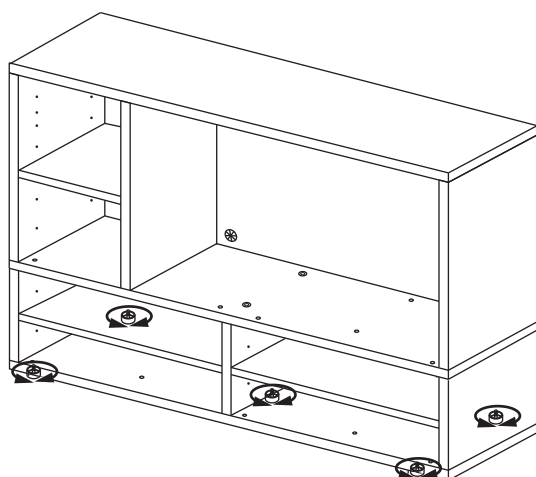
●⑧突板シールは手順 3 組み立て後、1 週間程度経過し、ボルトを締め直した後に貼ってください。突板シールをはがす際に表面の突板が割れるおそれがあります。
●突板シールは天然木を使用していますので木目や色にばらつきがあります。

共通

5

完成した商品を所定の場所に設置します。

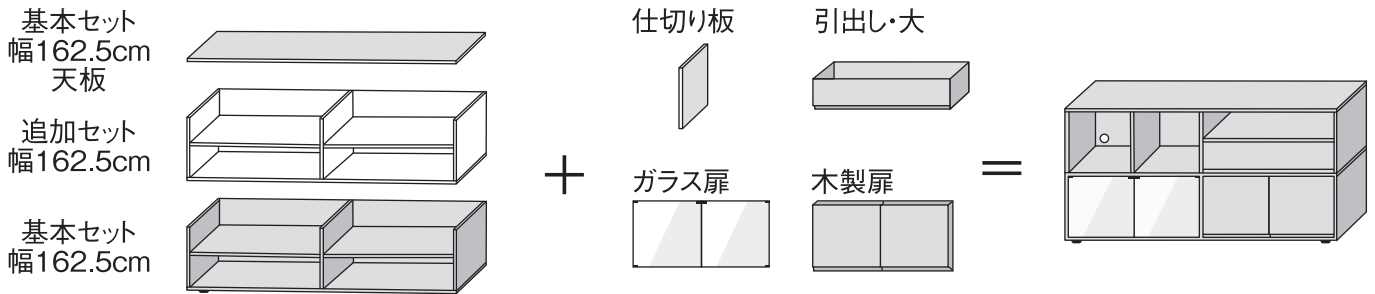
設置場所の状態により本体のねじれや傾きがある場合は、㊦脚をゆるめて、ねじれや傾きを調整してください。

**完成**

ご使用方法

スタッキングキャビネットは、使い勝手に合わせて、別売りの追加セットまたは追加パーツを組み合わせて、使用する事ができます。ただし、下記の取扱い上のご注意をお守りください。

組み合わせの例

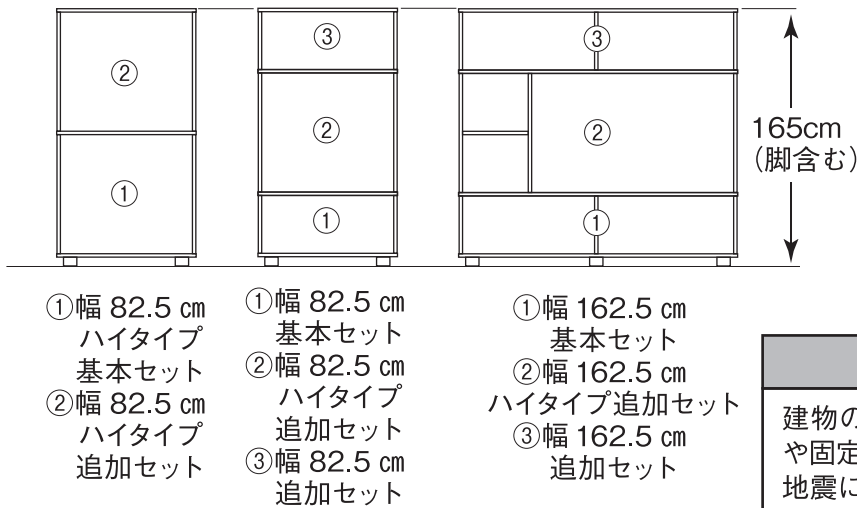


注意
 幅サイズの異なる商品を積み重ねる事はできません。

●追加セットの組み合わせ高さの制限 ※下記までの高さで使用してください。

ハイトタイプ基本セットとハイトタイプ追加セットを含んだ組み合わせ (床から165cmまで)

床から165cm以内の高さでご使用ください。
以下の組み合わせ例の高さまで積み重ねできます。



注意
 165 cmを超えた高さでは使用できません。(脚含む)

幅82.5cm追加セット

幅82.5cmハイトタイプ追加セット

幅82.5cmハイトタイプ基本セット

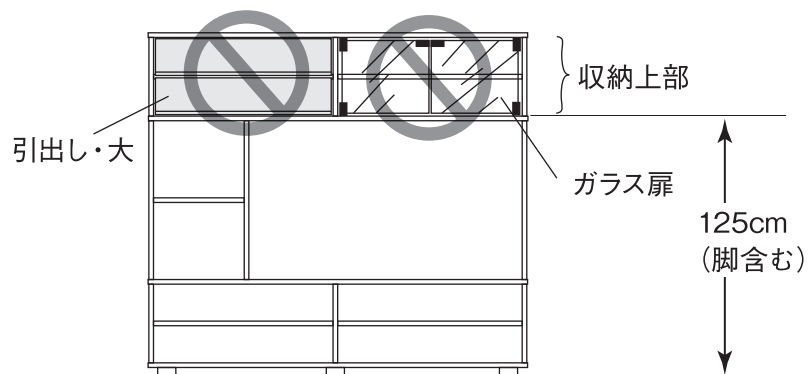
165cm
(脚含む)

警告
 建物の壁や天井、床等に耐震用の固定用金具や固定部材でしっかりと商品を固定してください。地震による振動で過度の負荷が掛かった場合、商品の転倒により、ケガの原因となります。

ご使用方法（つづき）

●追加パーツの組み合わせの制限

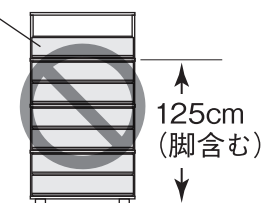
3段（「スタッキングキャビネット基本セット」+「ハイトップ追加セット」+「追加セット」）の組み合わせで使用する場合は、収納上部にはガラス扉と引出し・大は設置できません。



3段：幅 162.5 cm 基本セット
+ 幅 162.5 cm ハイトップ追加セット
+ 幅 162.5 cm 追加セット

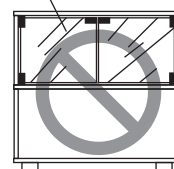
⚠ 警告

125 cmより上で引出しは使えません。



⚠ 警告

2段目から上でガラス扉は使えません。



●テレビの設置について



警告

- テレビを設置する際、画面サイズが大きい場合は転倒、落下、破損の原因となりますので、設置する際には十分注意してください。
- テレビを設置する際は画面サイズ42インチ型までが目安ですが、設定する機器の取扱説明書をよく読み、正しく使用してください。



オープン天板で
65kgまでの重量の範囲でお使いください。

ご使用方法（つづき）

●収納するAV機器などの放熱対応について

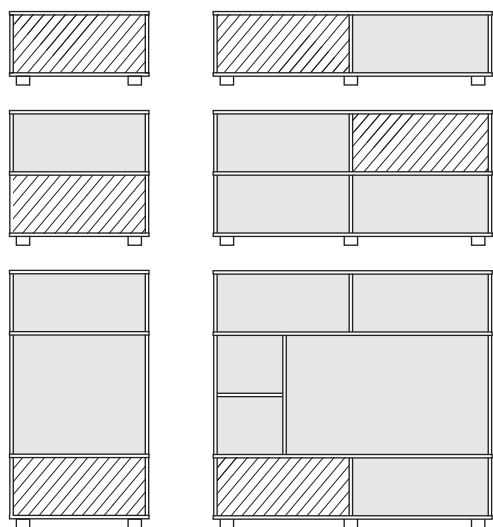
床からの高さ125cm(脚含む) までの高さで、一枚に限り背板を取り外して、利用いただくことができます。



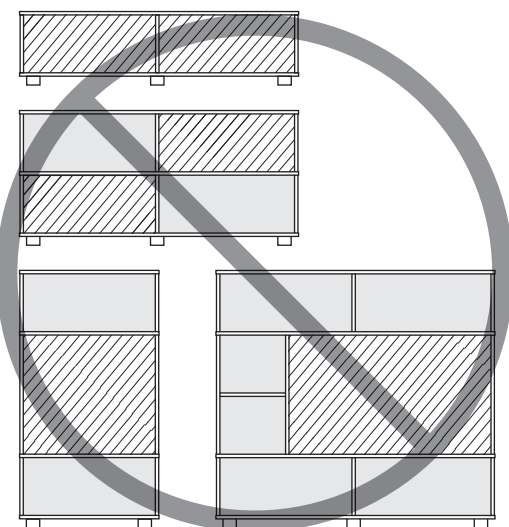
注意

- 背板を外した箇所には、必ず棚板を使用してください。
- 背板を外した箇所では、木製扉、ガラス扉は使用できません。破損の原因となります。
- ハイタイプの背板は、外して使用しないでください。
- 幅 82.5 cmの商品の背板を外した場合、天板耐荷重は30kgとなります。

！正しい背板の外し方



⊘ 誤った背板の外し方

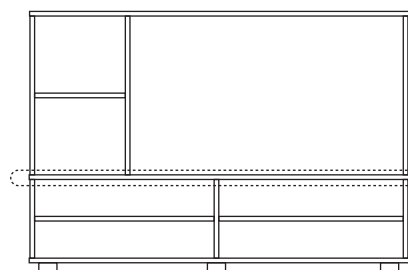


※イラストは背面から見た図で、背板を外した部分を斜線で表現しています。

●耐荷重について

以下の重量を超えて収納する事はできません。

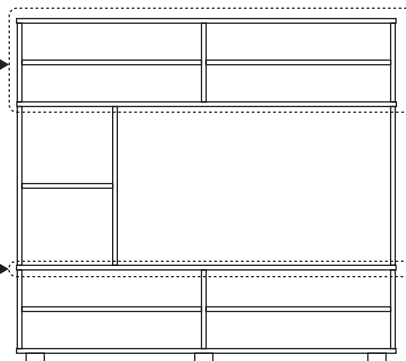
全体：約100Kg まで
棚板：約5kg (1枚あたり)
オープン天板：約65Kgまで



「スタッキングキャビネット・基本セット」
＋「ハイタイプ追加セット」

収納上部
30Kgまで

オープン天板
65Kgまで



「スタッキングキャビネット・基本セット」
＋「ハイタイプ追加セット」
＋「追加セット」

ご使用方法（つづき）



収納に関するご注意

- 上部のみに片寄って収納しないでください。バランスを崩し不安定になりやすく、商品が転倒してケガをするおそれがあります。
- 上部に重たいものは置かないでください。地震などで物が落ちたり、本体ごと倒れたりして、ケガをすることがあります。



不安定になりやすい使い方

(例)



重い物

軽い物

※イラストは幅162.5cm（基本セット）
＋幅162.5cmハイタイプ（追加セット）×1
＋幅162.5cm（追加セット）×1
を使用しています。

移動について

- 組み立てた状態で少し動かす場合
 - ①組み立て後の移動は必ず収納物を取り除いてから2人以上で左右から側板部分をしっかりと持って移動してください。
 - ②床面を引きずったり、押したりしないでください。床面のキズや破損の原因になることがあります。
- 引っ越しなどで運ぶ場合
引っ越しや部屋をまたぐような移動をする際は、組み立て前の状態に戻してから運んでください。
パーツが変形したりボルトがゆるんだりして、商品が破損しケガをするおそれがあります。

廃棄について

- 廃棄の際は、居住地域自治体のルールに従い処分してください。

お手入れ方法

保守・点検

以下の点について、定期的に点検をしてください。

- 破損変形した状態では使用しないでください。
- スチールパイプ、ボルト、及び転倒防止補助金具の取付け部にゆるみやグラツキがないかを点検してください。
ゆるみやグラツキを発見した場合は、直ちに工具を使ってゆるみがなくなるまでしっかりと締め直してください。
- 点検により破損箇所を発見した場合は、直ちに使用を中止してください。
そのままご使用を続けた場合、変形や転倒等で収納物の破損やケガをするおそれがあります。
- 害虫を発見した場合は、直ちに殺虫や防虫処理をしてください。放置すると虫害が拡大するおそれがあります。

汚れについて

木部のお手入れ

- 塗装面のほこりはやわらかい布または、はたきで軽く払ってください。かたい布でほこりのあるままでこすると細かなキズがついてかえって逆効果です。通常、やわらかい布での乾拭きで十分です。
- 汚れのひどい時は、薄めた中性洗剤を浸した布で汚れを落とし、その後、水で浸した布で洗剤分をよく拭き取ってください。次に乾いたやわらかい布で軽く拭いた後、自然乾燥させてください。
- 化学雑巾を長時間、接触させておくと変色したり表面がはがれたりすることがありますのでご注意ください。

お手入れ方法（つづき）

金属部のお手入れ

- 通常のお手入れはやわらかい布で乾拭きしてください。
- 汚れのひどい時は、3～5%に薄めた中性洗剤を浸した布で汚れを落とし、その後、水で浸した布で洗剤分をよく拭き取ってください。次に乾いた布で軽く拭いた後、自然乾燥させてください。

ご使用に際して

天然木製品についてのおことわり

- 本製品は天然木（突板）を使用しているため、木目や色合い等、天然木特有の個体差があります。そのため、商品として木目や色調に差がありますが、あらかじめご了承ください。
- 天然木（突板）は下記の条件により、割れや反りなどが発生することがありますのでご注意ください。
 - ① 直射日光の当たる場所でのご使用は出来る限りお避けください。
どうしても直射日光が当たる場合は、カーテンなどで出来る限り避けてご使用ください。
 - ② 冷暖房器具の近くでのご使用は出来る限りお避けください。必ず冷暖房の風が直接当たらないようにしてご使用ください。
 - ③ 特に冬の暖房による室内の極端な乾燥は、天然木の割れ、反りを発生させる原因になります。

ホルムアルデヒドの対策について

- ホルムアルデヒドとは
ホルムアルデヒドは、シックハウス症候群の原因物質の一つと言われています。常温で気化する無色で刺激臭のある化学物質で、家具はもとより建設資材・壁紙を貼る接着剤などに含まれています。少しずつ放散されるため、ホルムアルデヒドに汚染された室内に長時間いると目がチカチカしたり、喉に不快な刺激を感じたりすることがあります。濃度が高いと呼吸困難を起こす場合もあります。
- お部屋の換気をしてください



家具を設置の際は、室内の換気を十分にしてください。化学物質に敏感な体質の方や乳幼児などアレルギー症状を起こすことがあります。

ホルムアルデヒドは空気中に放散されやすいので、普段からこまめに室内の換気を行うようにしてください。複数の家具を同時に設置した場合は、特に窓をできるだけ広く開け、十分な換気を行ってください。室内の湿度が高くなると、ホルムアルデヒドは多く放散される傾向がありますので、夏季に室内を長時間閉め切っている場合は、特に換気をするようにご注意ください。換気効率をあげるため複数の窓を開けたり、換気扇、扇風機、サーキュレーターの利用をお勧めします。

- 化学物質に敏感な体質のお客様へ
ホルムアルデヒドに限らず、シックハウス症候群に該当する化学物質は許容量に個人差があります。よって、室内濃度指針値（健康上望ましいとされるホルムアルデヒドの室内濃度値）以下の濃度であっても反応する体質の方もいらっしゃいます。現段階の無印良品の家具におきましても、ホルムアルデヒド放散量の少ない材料を極力使用しておりますが、まったく発散されないわけではありませんので、ご注意ください。
アレルギー症状が起きた際は、医師にご相談ください。
- 無印良品の家具は、梱包内にホルムアルデヒド吸着・分解シート※を入れて出荷しています。
（※ホルムアルデヒド吸着・分解シート：アイシン精機(株)との共同開発）
狭い空間ではホルムアルデヒドは逃げ場がなく、材料に再吸着する可能性があります。そこで、お手元に届くまでに少しでもホルムアルデヒド濃度を低下させるためにホルムアルデヒド吸着シート・分解シートを入れてあります。
※同梱の「ホルムアルデヒド吸着シート・分解シート」は効力が落ちておりますので、燃えるゴミとして処分してください。
- 収納家具用ホルムアルデヒド吸着・分解シートのご案内
「収納家具用ホルムアルデヒド吸着・分解シート」を別途販売しております。
ホルムアルデヒドは少しずつ放散され続ける場合がありますので、引出しなどの密閉された空間の場合は、継続してホルムアルデヒド吸着・分解シートのご使用をお勧めします。

製品仕様

品名	スタッキングキャビネット・幅162.5cm・ハイタイプ・追加セット・オーク材	
製品寸法	幅 1625× 奥行 395× 高さ 795mm	
製品質量	約 25Kg	
用途	スタッキングキャビネット用追加セット	
耐荷重	棚板	約 5Kg（1枚あたり）
	オープン天板	約 65Kg
	全体	約 100Kg（収納上部：約 30Kg）
材質	中板、側板：天然木化粧繊維板（オーク材突板 フラッシュ構造） 棚板：天然木化粧パーティクルボード スチールパイプ：スチール 表面加工：木部 アクリル樹脂塗装 ：スチールパイプ 粉体塗装	
原産国	インドネシア	

品名	スタッキングキャビネット・幅162.5cm・ハイタイプ・追加セット・ウォールナット材	
製品寸法	幅 1625× 奥行 395× 高さ 795mm	
製品質量	約 25Kg	
用途	スタッキングキャビネット用追加セット	
耐荷重	棚板	約 5Kg（1枚あたり）
	オープン天板	約 65Kg
	全体	約 100Kg（収納上部：約 30Kg）
材質	中板、側板：天然木化粧繊維板（ウォールナット材突板 フラッシュ構造） 棚板：天然木化粧パーティクルボード スチールパイプ：スチール 表面加工：木部 アクリル樹脂塗装 ：スチールパイプ 粉体塗装	
原産国	インドネシア	

お問い合わせ先

商品のお問い合わせは、お買い上げの販売店もしくは下記お客様室までご連絡ください。

株式会社 良品計画

〒170-8424

東京都豊島区東池袋 4-26-3

お客様室でんわ



0120-14-6404

受付時間 ■平日 10:00～21:00
■土・日・祝 10:00～18:00